

令和元年度 町政懇談会

質疑応答集

令和元年度「町政懇談会」開催結果(全11会場)

開催日	地区	会場	参集	(単位:人)	
				男	女
7月1日(月)	加悦地区	元気館	31	23	8
7月2日(火)	与謝地区	滝地区公民館	35	31	4
7月5日(金)	桑飼地区	明石地区公民館	31	19	12
7月8日(月)	石田・弓木地区	弓木地区公民館	25	24	1
7月10日(水)	岩滝地区	知遊館	29	19	10
7月11日(木)	男山地区	男山地区公民館	45	36	9
7月30日(火)	三河内地区	三河内地区公民館	30	22	8
8月5日(月)	岩屋地区	岩屋地区公民館	20	15	5
8月6日(火)	市場地区	幾地地区公民館	48	42	6
8月8日(木)	山田地区	下山田地区公民館	44	38	6
8月20日(火)	石川地区	石川農構センター	42	34	8
合計			380	303	77

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
1	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	加悦地区	7/1	会場	① 与謝野町の所有する建物でアスベストのある建物はあるか。 ② ということは建設課としてそこでは作業してはいけないということか。 ③ あそこで精米などを行っているが、使ってよいのかどうかははっきりさせて欲しい。 ④ いつごろまでに返事をいただけるか。 ⑤ 今年の稲の刈り入れには間に合わせてくれるのか。	① 可能性としてあるのが、算所区の共同作業所と把握している。 ② 基本的にはその心配があるので、使用はしないという考えをしている。今後改修をする場合には協議が必要と考えている。 ③ 使用は控えていただきたい。そうは言っても使っていただかないと具合が悪い場合もあると思う。飛散防止対策を農林課と講じていきたいと考えている。 ④ いつごろと明言はできないがなるべく早い段階で報告させてもらいたいと思っている。 ⑤ それに向けて使っていただけるように対策を講じたいと考えている。
2	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	① 中学校のクラブについて、国の週5日のクラブ実施となるようだが、日本全国、与謝野町内もそうなのか。 ② そうならこれからオリンピック選手は出ないということか。	① ご指摘のとおり、ひとつは教職員の働き方改革もあり、子どもたちも疲れている状況もあり、町内の3中学校においては土日のいずれかの日ともう一日は平日に休みを取ることになっているため、計5日間のクラブ活動の実施となっている。まだ日本全国までは分からないが、少なくとも与謝管内はそのようになっていっているように思う。 ② それは断言できないが、国としてはできる限り、地域の指導者や、地域のスポーツクラブに学校から帰ってから参加するとかが今後もありうるのではと考えているが、当地方にはあまりそのような状況に無いので部活動は中学校でというのが現状。
3	みんなが自分らしく幸せに生きるまち	加悦地区	7/1	会場	クアハウスの改修であるが、町長も副町長にも一緒に風呂呂に入って実際の現場の声も聞きながらきめ細やかな改修も実施して欲しい。	クアハウスの改修工事はまもなく入っていくが、細かい部分についてはクアハウスの運営会社にご意見が届いているのかどうか確認し、今日いただいたご意見は軽微な変更というのでできるので、そのような意見があったことは担当課に周知し、できうる変更はしていきたいと考えている。
4	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	このまちとしてどのような目標をもって公民館の活動をしていくのか。	公民館活動というひとつは個人の生涯学習の場 勉強をすること。もうひとつは地域の課題を解決していくところといわれている。目標というかその点も含めて活動していきたいと考えている。
5	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	学童保育実施のため加悦地域公民館の大ホールでの公民館活動を3ヵ年実施できないということはどう考えるか。	代替施設としては元気館を考えている。
6	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	加悦地域公民館が抱えているエリアのこととして、少子高齢化で人口も少なくなってきたが、加悦地域というのは面積だけで言えば岩滝地域の4倍、野田川地域のおおむね2倍の広い地域である。高齢化率も非常に高いという中で公民館はどのように位置づけられるのか。地域課題も取り組んでいく公民館をといわれたが、その点ではどのように考えていくのか。	与謝野町の公民館活動としては3層構造と考えている。一番下の層としては地区の公民館20箇所があり、その上加悦地域公民館、野田川の中央公民館、岩滝は知遊館と一緒にしているが、岩滝の地域公民館その上に知遊館が生涯学習センターになっているので全部あわせると23の公民館活動ができるところがある。その中で加悦地域は広いということだが、加悦地域には10館の公民館も踏まえて対応いただけると考えており、1つだけの加悦地域公民館ではないと思ってい
7	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	地域公民館の扱いが雑に感じている。町長は以前の説明会の際に町民憲章に書いてあるといわれたが、納得できない。公民館を軽んじているのでは。公民館活動は地域づくりの拠点として全国的に展開されて、人口減少の中で公民館は見直されており、補強されている。この中で地域公民館が場所が無いから学童保育にするという雑な扱われかたは納得できない。地域力をどう高めるか、住民の自治をどう高めるかを尊重した公民館の位置づけをきちっと持つべきである。	以前質問された際はまちづくり全体の理念をお伺いになられたと思う。それに対して、町民憲章を尊重しながら各施策を推進していくと申し上げた。公民館の役割は社会教育課長がお答えしたようにいかに各地域における公民館活動が、活発なものになっていくのかを議論しなければならない時期にさしかかっていると考えている。今月中旬に公民館の活動に従事されている方々による協議会が設立され、これからの時代に公民館活動がどうあるべきか、どのような役割を担うのかこうした議論が始まる。そうした中で現状認識している。
8	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	5月の説明会では不安要素がいろいろ出されたが、学童保育の運営のため加悦地域公民館の正面玄関に鍵をかけるという話であったが、それは間違いなことか。	5月の説明会で加悦地域公民館の前には交通量も多く危ないという意見があり、ひとつの方法として、1・2年生などの小さい児童が出ないようにするためには鍵をかけるのも一つの方法ということであって、ほかにも方法があるのであればそれを検討していく必要があると考えている。
9	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	私は一般論としてまちづくり計画をちゃんとせいと言ったつもりはなく、原稿も書いていったのでそんなことは言っていない。理解に乏しい。	
10	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	交通量が多くて危ないと町側も認めているが、子どもたちの大切な発達段階で、学童保育で玄関に鍵をかけてがんじがらめでよいのか。(加悦地域公民館学童保育)	がんじがらめにしたらよいという感覚は無いが、危ないということであるなら安全対策としてそのような措置も必要かと考えている。のびのびとさせてあげられたら子どもたちにとってよいと分かるが、広場や指導者の確保が必要となってくる。指導者が確保できた状態であればできると思うが、今一番苦慮しているのが人材の確保が難しい。広いスペースが用意できても保育する指導員確保が難しいためそこを活用するのも難しい状況にある。
11	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	公民館について公民館の大きな意義として2つあると思うが、大人の学校と言う顔ともうひとつは青少年育成と人権の2大項目が一番基本となっており、公民館のできたときの理念でもある。そんな中地域公民館に学童保育ができることはいいことで全うなことだと思う。	青少年育成と人権は公民館事業というソフトな部分では重要な位置づけをされていると考えている。
12	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	算所会館はどういう位置づけか。	算所公民館もあるなか、算所会館は集会所として、今は公民館的な使い方もしてもらっていると思う。町は算所会館としてひとつの条例を持っている。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
13	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	今、会合は算所公民館があるが、ほとんど算所会館をつかっていると思うが、位置づけが、職員もいるがどうかと考える。	行政も教育委員会管轄の地区公民館と住民環境課管轄の算所会館となるので、そこでうまく融合できるのかどうかは相互で協議をしてみないと分からないので今お答えできないが、算所会館は稼働率も高いのでどういった整理ができるか協議を進めたい。
14	住民が主人公となるまち	加悦地区	7/1	会場	資料の行財政経営マネジメントのなかで、財政改革の効果の高い順を行政としてはどう考えているか	行財政経営マネジメントの1～5について1の策定が先で、第3次行政改革大綱の策定が先で、その大綱の中に2～5は入ってくるものとなる。行政経営に変えていきたいと考えているが、行政が改革改革と言うとしても予算削減のようにとらえられがちだが、そうではなく、たとえば統合しなければならぬ事務があれば統合してより効果的に事業を執行しようとか、住民サービスにはどういう考え方が一番適しているのか。削減ばかりでなく、実のあるものにはさらに投資してでもやっていくというのが行政改革・行政経営だと思っている。順番をとられたが、全てが機能して行革大綱ができていると思っている。
15	住民が主人公となるまち	加悦地区	7/1	会場	① 行財政経営マネジメントの公共施設等総合管理計画による公共施設の統合・集約化等の推進とあるが、有休不動産の処分をするような計画はあるのか ② たとえば町営住宅など ③ 相対論が無いのに部分的なところしか見えない。町民にとってネガティブの問題ばかりが浮き上がってきて1第3次行政改革大綱の策定及び実行が無いからだと思う。改革大綱を早期にまとめるべきだと思う。	① H30年3月に町が示している公共施設の総合管理計画では197の公共施設を今後30年間維持していくとすれば157億ほどの再投資などの経費がかかってくることに到底無理があるということで、197ある施設を今後更新するときにはどのような方針とするのかの位置づけを示したものを。それを行革推進委員会から答申をいただく場合には個別計画を立て、個別計画を住民に説明する際には当然利害関係に及ぶことから丁寧な説明が必要であると答申にも付記されている。個別の事案についてやっていけるものからしているし、潰せるものからつぶしていくとしているが、将来的なものから考えるとこのまちに何個の類似施設が必要なのか旧3町ごとにあった3つの施設が本当に3ついるのかという議論はできていないのが現実である。類似施設によっては対応年数が早く来たり、遅く来たりするので当面の施設の利用率から廃止とした施設もあるが、方針として考え方が示されている程度で個々の案件になってくると個々の説明をし、町の方針を説明するとしている。仮に廃止としてもそれが財産として残った場合は売却なり、貸付もしていかなければならないと考えており、町有財産活用推進委員会という組織で一定のルールを定めている。廃止した施設を公共の用に供する施設として再活用できないか。地域の財産としての活用ができないか。民間活用なり貸付。それでも活用できない場合は施設取り壊して更地にしての利活用となる。廃止にしたけれども経費がかかるというのが一番困る。今利用していない公共施設もその手順によって新たなあり方を模索していくと言う方針のもとにやっていくことになる。 ② 住民に直接影響のあるところで町営住宅の話もあったが、町営住宅や下水道施設などは別の計画として定めているので、今回の総合管理計画の中では対象にしていないことをご理解いただきたい。 ③ 現在委員の構成も含め議論しているところだが、第1次、第2次の計画を引き継ぎながら、より一層の実行力が伴う形での策定をしていきたい。なお、公共施設統廃合については平成27年度の白書の策定に始まり、実施計画を取りまとめているので、一定全体像についてはご理解いただいているものと考えている。そうした中で当地域における社会教育施設の統廃合をどう考えていくのか。加悦地域における小学校の再編をどうして行くべきなのか。については住民の皆様への参画をいただきながら、私どもも責任を持ってその素案を取りまとめながら議論を重ねさせていただいている状態である。今後この公共施設の統廃合は一層私たち、一人ひとりが向き合っていかなければならない課題だと思っている。このあり方についてこちらからも出向いていくので議論の機会をいただきたい。住民の福祉を増進することと同時に将来世代に責任ある選択とはどうあるべきかを皆さんと共に考えていきたい。
16	美しく住みやすい安心安全なまち	加悦地区	7/1	会場	旧加悦町役場の耐震工事に伴い、加悦地域の方が利用できるのか。また、ちりめん街道の初期消火における予算は	完成後に地域の皆さんは使えるかと言うことだが、2階の部分は料金等の設定や細かい規定はあると思うが、地域の皆さんで2階部分を利用してもらうことは可能である。ちりめん街道の初期消火と言うことであったが、なかなか予算がつけられていない現状だが、順次少しずつ改善できるようにしていかなければならないと思っている。
17	美しく住みやすい安心安全なまち	加悦地区	7/1	会場	加悦地域公民館が加悦地域の災害時の避難所となっているが、変わらず利用できるのか。	加悦地域公民館の避難場所としては1階老人憩いの間を設定しているのので、これまで同様に何かの時はご利用いただける。
18	美しく住みやすい安心安全なまち	加悦地区	7/1	会場	① 加悦中学校について建設当初二次避難所一階の厨房やシャワーも使えるなどとして利用できるということであったがどうか。 ② 災害時には利用できると思っていたのに、いざ行ってみると鍵がないとか、体育館に行けどか、体育館に行こうと思ったらエレベーターが無かったら足の不自由な方がいけなかったり、いざという時に利用できないのでは困る。	① 加悦中の鍵の管理や機械警備については確認したい。設計のコンセプトとして災害時には利用していただけるとしていた。 ② 基本は地域の公民館が一次避難所となり、二次避難所開設となると相当な災害となるが、とはいえ今後益々その可能性もあるので、しっかりと対応できるように調整していきたい。
19	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地区	7/1	会場	算所会館の鍵を住民環境課と相談して持ちたいと思う。	住民環境課と防災安全課とも調整して合鍵を算所区に持ってもらえるかどうか対応を連絡させていただく。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
20	みんなが自分らしく幸せに生きるまち	加悦地区	7/1	会場	町は一日一善はどのように考えているか。	庁舎等にきていただいたお客様にいかにお持ちよく来て頂いて帰っていただけるような対応ができるかだと思っている。われわれ職員が一番大切にしななければならないところかと思う。まずそれを基本とすることで皆さんにとって有効な手立てが職員もできるのではないかと意識づけている。繰り返しそのような意識を持って職員には啓発していきたいと思う。
21	住民が主人公となるまち	加悦地区	7/1	会場	私たちが行ってもこんにちはも言わない職員がほとんどだ。サービス業ならこんなところ来るかいとなる。	最後の意見は職員に伝えていきたいと考えている。
22	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	与謝地区	7/2	会場	① 予算資料に町内6小学校空調設備工事に4億円以上の多額の予算が組まれているが、設置予定の教室の数は？ ② 設置のエアコンは家庭にあるようなものか？もっと大規模なものか？	① 整備させていただくのが普通教室と特別教室等すべての教室を含めて110教室を予定している。 ② いわゆる家庭にあるようなものではなく、もっと大規模な、つりさげ式のようなものとなる。入札も終わりましたので、夏休みにできることを出来るだけやって、夏休み中にすべてをやることは無理なので、なるべく授業に支障がないように、年度内、早ければ年内に工事が終わるように考えている。
23	住民が主人公となるまち	与謝地区	7/2	会場	前年度比でたばこ税については、13.3%の増収の予算となって、町にとっては増収ということで喜ばしいことではあるが、一方で受動喫煙等も心配される。たばこ税が増える要因は、たばこ1本あたりの金額が増えるのか？たばこを吸う方が増えているのか？	たばこ自体の値上がりもある。また、電子タバコの課税の影響もあり増額を見込んでいる。受動喫煙については今後PRをさせてもらう。法改正で7月1日から非常に厳しくなり、公民館関係は喫煙スペースもなくなり敷地内含め全て禁煙となった。庁舎関係は、屋外で、たばこを吸わない一般の方に影響がない場所であれば法律上、認められることになっており、それぞれの庁舎に1か所ずつ指定の場所を設けさせていただき対応している。
24	みんなが自分らしく幸せに生きるまち	与謝地区	7/2	会場	グラウンドや体育施設などの子ども達のいるところで大人がたばこを吸う光景を見ることがある。そういった場所ではたばこを吸わないよう指導をお願いしたい。	体育施設、グラウンド等も敷地内禁煙となっている。また、子どもがいる場所ではたばこを吸うことは問題なので啓発する。
25	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	与謝地区	7/2	会場	閉校後の与謝小学校の校舎利用の見通しがあれば教えてほしい。また学校統合後は学童保育を加悦地域公民館でとのことだが、夏休みは児童が増えると思う。ストレスがたまったりしないか。そうであるなら学童保育を与謝小学校でしてほしいという思いがある。	地域の皆さんと一緒に協議をすることが大切だと思っている。今は与謝、滝、金屋で組織している協議会でも議論いただいている。また3地域の区長さん方に対しても相談させていただいたり準備を怠ることなく進めたいと思っている。学童保育は、加悦地域では通常時およそ50人のお子さんをお預かりし、夏休みになるとおよそ80人という人数になる。来年4月からは加悦地域公民館の大ホールに80人という人数となるのでストレスがないということは言い切れませんので、加悦地域公民館を柔軟に使わせていただくような検討もしたいと考えている。委託先の社協さんと担当で意見交換をさせていただき、より良い方法を見つけたいと考えている。
26	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	与謝地区	7/2	会場	与謝小学校では児童数は少ないが、なぜ急いで小学校の統廃合を進めるのか。学校ができてから150年近くたって、与謝保育園、与謝小学校というPTA活動等を経て、地域コミュニティ作ってきたと思っている。統廃合がパツパツと決まったような気がする。	国は理想的な学校規模を1学年2学級としている。1学年2学級だと人間関係が固定しません。人間関係が固定するとなかなか脱皮できないこともあり、1学年2学級を基準にしている。与謝小学校の場合、数年後には新入生が3人になるという問題、また男女比等のこともあり、これから未来を生きていく子供たちにより良い学校環境を与えたいということがあり、また、学習指導要領の“憶える”教育から“考える”教育を目指すなかでは、より多くの友達と議論をした方が良いということもある。決して少人数が悪いということではありません。ただあまりに少人数となると“複式学級”で人数を確保することになるので避けていこうという考え方で、PTAや地域の皆様と話し合いをさせていただいた結果、再編もやむなしとなった。
27	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	与謝地区	7/2	会場	先程の学童保育の回答の中で、図書館の話があったが、加悦地域公民館の図書館はなくなる方向と聞いていたが、今後も図書館は今のままあるということか？3年間はなくさないけど、そのあとはわからないということですが、ぜひ無くさないようにしてほしい。3年といわずぜひ続けてほしい。あと以前も言ったんですが、与謝小の廃校後の利用で、玄関入ってすぐの職員室の一角にでも本を置いてもらうようなことも考えてほしい。課長が変わられたとしても“こういう意見をきいているで”と引き継いでおいていただきたい。トップの町長が指示していただいたら(図書館は)残ると思うのでぜひお願いしたい。	加悦地域公民館の図書館がずっと残るかということですが、答えとしてはずっと残ることはない。ただ今のところ加悦地域公民館の大ホールを学童保育で使わせてほしいというお願いをしている中で、3年程度はこのままの状態。その後は、昨年お話をさせていただいたように、図書館の加悦分室と野田川分室を統合していきたい。場所については野田川地域したいということ変更はしていない状態で、じゃあそれが具体的にいつかということなんですが、今のところ見通しが立っていない。簡単にいえばここ3年程度は学童で加悦地域公民館を使わせていただきたいので、その後どうなるということはまだ検討の必要があると思っている。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
28	美しく住みやすい安心安全なまち	与謝地区	7/2	会場	奥滝の不燃物処理場の近くをよく通るが、ごみが非常によく見える。埋め立て用の土を惜しんでいると思われるが、兵庫県の方からも景観が悪すぎるとよく言われる。不燃物処理場ができた当初は、“カラス等が来ないように、短期間で埋めてごみが見えないようにします”との話であったが、現状はごみが非常に見えている状況。ぜひ何とかしてほしい。浚渫工事での残土はかなりの量が期待できると思うが、多分あと2カ月以上はかかると思う。現状でごみが一杯見える状態ですし、浚渫工事の残土が出るのを待つということでしたが、経費を使ってでも土を入れるということも検討してほしい。	加悦最終処分場の覆土の関係ですが、昨年と同じように“覆土がされていない”というお話があり、30年度に覆土を入れさせていただいた。令和元年度も同じように覆土がない状態で、お金を使って残土を処分場にいれるということは、相当額の費用がかかるということで出来ないということで、今、丹後土木事務所の関係で河川の浚渫工事が、しばらくしたら始まることになっており、その工事が始まり残土が出たら(不燃物処理場)に入れていただくということが決まっているので、残土が出てきたらということをお願いしたい。工事の関係のからみで、ずっと残土を入れられるような工事が継続すればいいが、タイミングもあって残土が無い時や、逆に非常に多く入るような時といった波はできるが、継続してやらしていただくので、よろしくお願ひしたい。
29	住民が主人公となるまち	与謝地区	7/2	会場	① 何かで聞いたのだが、財政の悪い方から1番が夕張、2番が宮津、3番が与謝野町というようなことを聞いたが、一体何の順番なんだろう？ 与謝野町がそこまで悪いとは思わないし、もっと悪いところはあると思うが？ ② 私は与謝野町はそこまで悪くない、与謝野町よりも悪いところももっともあって思っているのですが、そういった噂話に惑わされないように、“与謝野町は大丈夫だ！”あたりのアピールをしていただいたらと思う。	① 夕張、宮津、与謝野ということなのですが、ご存じのように夕張市については、第三セクターやリゾート開発で、多額の借金が溜まりに溜まって、全国的にも有名な市になってしまったんですが、この夕張の破たんを機に、国が財政指標の見直しを行った。指標の中に“将来負担比率”将来にどれくらい負担がでてくるのか、“公債比率”借金の比率などの指標がある。 “夕張、宮津、与謝野”とおっしゃられたが、確かに与謝野町だけをみれば、数値は悪化しており、府内でもワースト3くらいになっている。しかし国の示す率までは、到底悪化していないので、そうならないように、行財政経営マネジメントと書かしていただいているが、そういった数値を注視しながら、悪い状況にならないようにと頑張っている状況。 ② 全国的にはもっと悪いところはいっぱいあると思っている。ただ資料にもあるように借金も、合併以降で、一般会計だけをみると、一番多くなっている。下水道、水道といった特別会計の借金も一緒に考えた場合、下水なんかは普及がほぼ済んだので、事業が終息に向かっており、借金は年々減っていくような動きになっている。全体を見れば町の借金は減ってくるだろうと思っている。しかし、先ほどからありますように、小学校の統合、認定こども園といった新たな施策で生まれてくる借金もあるので、出来るだけそういった借金が増えないようにしていきたいと思っている。
30	美しく住みやすい安心安全なまち	与謝地区	7/2	会場	① 先ほど山が荒れるという話があったが、竹ヤブが、タケノコも取りに行かなくなったこともあって、大変なことになっている。そこで竹を伐採し、チップにして、リフレの木質チップのボイラーがあるので、それに入れるなどの利用を検討していただいと思うが、竹ヤブを何とかしたいということからの要望です。 ② 竹の話が出たので、過日、数名で綾部に講習に行った際に、普通の鉄窯では竹を燃やすと溶けてしまうので、ステンレスの窯で燃やすと、きれいに燃えて消し炭のような状態になるので、それを圃場に戻すというような話を聞いてきました。そういったことも調べてもらって残った炭を再利用するようなことも考えてもらえれば。	① リフレに木質チップのボイラーを導入した際にも、同様の提案をいただいた。ただ竹は普通の木材よりも火力が強く、今の木質チップボイラーに入れるとボイラーが不具合を起こしてしまい使えていない。 ただ火力が強いということは、効率もいいということであり、今後そういった技術が進歩していくことを期待し、そういった情報も得ながら、勉強もしていきたいと思う。 ② 多方面で森林の保全にご協力いただきありがとうございます。今お聞きしたことは農業会議等の中で議論を深めさせていただきたい。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
31	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	与謝地区	7/2	会場	<p>今日、こういった場所にきていただいて、直接町長さんや町の代表の方からお話を聞くということは非常に有意義な機会だった。定期的にこういった開催していただけたらと思っている。いろいろな話があったなかで、大きな話としては小学校の問題だと思った、本日も色々な方から、色々な話があったが、聞いている中で加悦地域というのは、素晴らしい地域だなあと、あらためて思ったのと、地域を作るのは人で行政ではないと思っていて、地域の方がどうしていきたいかということ、自分のこととして考えないとその地域には未来がないと思う。だが行政に依存しないと出来ないこともたくさんある。</p> <p>加悦地域には教育環境、加悦中学校が新しくあり、こんな中学校は近隣ではどこにもないんじゃないかと思うくらいの中学校がある。</p> <p>また加悦地域には商業施設、運動施設、観光施設やちりめん街道の街並みもあって可能性の高いエリアだと思うので、そこにいかに人を引き付けてくるかというのが大きな課題だと思う。小学校がそうってしまったのも、先代からそういった政策のなかで流れを引き留められなかったという部分があり、ある意味では地域住民の責任だと思うが、それをいかに維持していくかということ、地域の方々考えないといけないと思っている。</p> <p>今の小学校、中学校の子供たちが、これから加悦の地域に住んでくれるのかなあと気になっており、そういった教育を定期的にしていかないとダメなんだろうなあとと思っている。</p> <p>小学校については一つになってしまいが、それによっていい効果も発揮されるんじゃないかなあと考えていて、加悦地域の少年野球も合併して、非常に強くなった。その子たちが同じ小学校で学ぶということは非常に楽しみなんだろうなと思う。</p> <p>ただこれもあと何年もつかと思っている。そういった中では何とか子供たちが帰ってきて住んで生活していける、帰ってきたいと思ってくれるように、僕らも頑張っていきたいと思っているが、そういった施策をこれからもどんどんしていただきたいと思っていて、今もしていただいているが、さらに頑張っていたきたいなあと思っている。</p>	<p>この地域に住んでいる小学生、中学生が将来、この地域に帰ってくるか、帰ってくる環境をいかに作るかということは、その要素として、教育と仕事ということが言われたと思う。</p> <p>教育については、総合教育会議の先導役を仰せつかっているということから、この与謝野町の教育をどうしていくかということ平成27年度から行ってきた。そういった中で先ほど教育長からもあったように、覚えるという教育から考えるという教育にいかに移行しているのか、覚えながら考えるという教育をいかに実践していくかが重要だと思っている。</p> <p>地域の特性であったり、地域魅力、あるいは文化など、こうした地域に根付く文化というものを通じた“まなび”を深めていくことが、地域に対する愛着を根付かせると同時に、地域の課題が世界に繋がっているという感覚を持つ、そうした“まなび”になっていくと思う。</p> <p>そうした考えるという教育を地域の題材を通じ与謝野町に対する愛着を広げていくことができればと思っている。いずれにしても教育という観点、町長部局と教育委員会部局が、それぞれの役割を分担しあいながら進めていくということになるが、引き続き教育委員会、学校現場、先生と連携しながらより良い教育の実践に向けて歩んでいきたいと思っている。</p> <p>仕事については、合併以来、まちづくりアンケートを実施した。このアンケートで見える住民の皆様への思いは、この町で新たな産業を興してもらいたいという選択をされる方がきわめて多かったと思う。これは単にこの町に雇用を拡大してほしいということではなく、この地域で将来にわたって続いていく産業というのを作ってもらいたいという選択をされる住民性があると、これは非常に心強いと思う。それは300年という経過の中で、丹後ちりめん、繊維産業の形成に携わってきたという歴史がそういう選択肢を選んでいくと思う。そうしたことを考えるとこの与謝野町の産業政策、住民の皆様が求められる産業政策というものは、まさに“産業を造る”ということだと思っており、その取組をこの5年、6年間おこなってきた。事例としては、この美しい土壌を通じた新たな産業ということで、ホップを栽培している。このホップというのは原材料ですが、その原材料を地域で丁寧に作っていくことによって、ビール醸造という産業につなげていくということも十分可能な段階に入ってきたと思っている。小さな試行錯誤、あるいはチャレンジから始まったこの事業だが、将来にわたり地域に根付く可能性がある産業だと考えた時に、現場で栽培を行っている皆様を私たちが、地域全体で応援をしていくということが重要で、またそうした仕事を子供たちに触れさせることによりこの地域でもあらゆるチャレンジが産業を通じてできるということを体験することが重要になると思う。</p> <p>この地域に子供たちが帰ってくる、帰ってこれる環境を作るとことは行政だけではできず、住民の皆さん一人一人が意識を持っていたくということが重要だと思っている。折を見て皆様方と対話をさせていただきこういう認識を共有し続けるということが、まちづくりのベースには必要になっていくと思うので、これからも定期的にこのような対話を重ねさせていただきたい。</p>
32	つながりで笑顔を未来につむぐまち	桑飼地区	7/5	会場	<p>認定こども園の工事について、広報がされておらず分からないので内容の説明をして欲しい。グラウンドが1.4m低くなるという噂もあるし、ツキヤマがどのようになるのか気になる。</p>	<p>建物の配置は、グラウンド側に園舎、校舎側によさの園を建設する。グラウンドを下げるのは、新たに設ける進入路が急勾配にならないようにするため、また進入路を新設するためツキヤマは、影響がない。</p>
33	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	桑飼地区	7/5	会場	<p>① 明石川のヤマノタニカワ橋の下流に土砂堆積があるので浚渫をお願いしたい。 ② 水田の取水を野田川から行っているが、土砂の堆積が多いので浚渫を京都府に要望して欲しい。また、ポンプが壊れた時に他の井堰から取水ができるような仕組みを考えて欲しい。 ③ 観光と農業の結びつきを考えて欲しい。</p>	<p>① 明石川の改修をしている。全線完了するには時間がかかる。理解を。 ② 野田川の井堰付近の浚渫を京都府は行わないので、管理組合で実施してもらいたい。場合によっては、農林家に相談を。また、取水の融通は水利権の関係があり難しい。 ③ 基幹産業は米。農業と観光を結びつけるのは重要と考えている。</p>
34	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	桑飼地区	7/5	会場	<p>公民館活動の交付金25万円が変わると聞いている。どのようになるのか？</p>	<p>いろいろな意見が有り、現状は白紙。委員会で議論し決定する。</p>
35	住民が主人公となるまち	桑飼地区	7/5	会場	<p>地籍調査の今後のスケジュールは？</p>	<p>地籍調査は桑飼から始めて、香河・温江は終わり、現在明石を行っている。明石の調査にあと何年かかるか回答できない。もう少し早く待つて欲しい。</p>
36	美しく住みやすい安心安全なまち	桑飼地区	7/5	会場	<p>温江加悦線の改良計画は？</p>	<p>市田副区長宅から側溝の改良計画は行っているが、地域に説明する段階に至っていない。</p>
37	美しく住みやすい安心安全なまち	桑飼地区	7/5	会場	<p>地域防災計画で避難所に職員を派遣することになっていると思われるので、派遣しないという選択肢はないのでは？ また、派遣しない決定し報告がされたあと、やっぱり派遣すると方針が変わった。ころころ変えられたら困る。</p>	<p>野田川区長会から職員無しで良いという意見が有り、全区に提案した。24区のうち、4区は職員派遣なしで対応してもらおうことになっているが、町は連携する。今後も区長会で議論を継続する。</p>
38	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	桑飼地区	7/5	会場	<p>今年は獣害がひどい。町道池ヶ成線への防獣フェンス・ゲート設置を要望する。</p>	<p>道路の管理上、町道を閉鎖することはできない。林道に格下げすれば防獣フェンス・ゲートの設置はできる。建設課と農林課にご意見は伝える。</p>
39	つながりで笑顔を未来につむぐまち	桑飼地区	7/5	会場	<p>認定こども園について、用水・排水対策と、進入路新設の際、竹やぶが残ってしまわないよう環境保全に配慮願う。また、与謝の園については、一般の方の緊急避難所となしてほしい。</p>	<p>関係者と協議しながら、建設課で水路計画を立てる。竹やぶについては景観に配慮し検討する。避難場所については桑小体育館がなっているが、与謝の園としても地域とのつながりは重要なので、協議していきたい。</p>

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
40		桑飼地区			●●燃系付近、町道大代線の暗渠が老朽化により機能していない。	建設課の計画に上っていれば改修できる。建設課と相談を。
41		桑飼地区			企業誘致、丹後サンオール跡のクロレハックについて現状報告を。	クロレハックは会社の経営方針の変更で止まっている。今後も誘致していきたいと考えている。
42		桑飼地区			広域ごみ処理施設の建設費と維持費について。	100億円近い建設費を補助を受けて関係市町で負担。国は国土強靱化に充たれば有利財源がとれるので、府とやり取りをしている。ごみ有料化は避けて通れない。可燃ごみ袋(黄色)250→400円。住民の皆さんにもご負担をお願いしたい。雑紙で出すなどゴミを減量化できれば負担は軽くなる。ゴミの減量は地域自然環境のためになる。
43	美しく住みやすい安心安全なまち	石田・弓木地区	7/8	会場	昨年7月の西日本豪雨で被害にあった農村体育館近くの砂防堰堤の山はだざり落ちで、更なる砂防対策はあるのか。現状と進捗状況、今後の対策は。	体育館後ろの土のう設置撤去は完了しており、オクダニの土のう設置も完了。府営の治山事業平成30年度新規要望している。測量、設計を実施中。その後施工方法の検討をという状況。
44	美しく住みやすい安心安全なまち	石田・弓木地区	7/8	会場	町道の舗装、修繕には年間どれくらいの長さを修繕しているのか。また基準は。	補助対象とならない細い道路については、昨年の修繕はない。国庫補助対象の基準は、わだち率・ひび割れ率で補助対象が決まる。対象外の道路については、目視で判断している。
45	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	石田・弓木地区	7/8	会場	小学校、こども園等の統合により空いてくる校舎の活用対策、空き家対策は。	教育保育施設の跡地活用について、町有資産活用委員会があり、活用方法の検討を行っている。公共活用できるか、できなければ地域の方に活用いただけないか、民間に売買や譲渡できないか、使い手が現れない場合は撤去等。与謝小学校校舎については、校区3地域の区長に取り計らいを頂き活用について議論を進めている。空き家対策では、4年前の外観目視調査585戸の空き家の内10%の家屋が廃屋化、所有者に対してお願い文書を発出し、その対応により取り壊しや空き家空き地の管理を強化してもらっている。70%程度は今すぐもしくは簡易な補修で利用できる家屋なので、貸したい方と借りたい方をマッチングしていく取組みが必要ではないか、観光交流課内に空き家対策の移住定住の側面からの支援を行っている。空き家バンクへの登録もいただきながらこの家屋の流動性を高めていけたらよい。
46	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	石田・弓木地区	7/8	会場	不登校の児童生徒への取組みは。8月18日海ほし公園にて全国規模でイベントされている「不登校は不幸じゃない」を開催予定。ぜひご参加を。	不登校の児童生徒数は、一時期減少傾向ではあったが、中学生が増加傾向、思春期もあいまって学校に行きにくい状況となっている。学級担任が個々に対応している。適応指導教室トライアングルができ7年が過ぎる。加悦地域にあるため、保護者の方には送迎等でお世話になっている。名称を変える提案をさせていただいている。「不登校という状況は決して不幸ではない」という認識に通ずるもので、適応を指導していくことではない名称があるのではないかと。
47	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	石田・弓木地区	7/8	会場	高齢化が進み、隣組役員が4年程度で回ってくる。隣組編成の変更は可能か。またその協議の場はあるのか。	当町もこの区においても役員さんのなり手が少なくなっている。町も区の自主性は尊重しながら、一緒に考えていく必要があると認識している。防災や子どもの見守り等どうあるべきか一緒に考えていければと思っている。
48	住民が主人公となるまち	石田・弓木地区	7/8	会場	平成29年度決算経常収支比率硬直化している。新ごみ処理施設や認定こども園等経常収支比率、今後の見通しは。	平成30年度の決算では、零点数ポイント上昇の見込み。新ごみ処理施設は来年4月から稼働するが、この先20年間維持管理の経費が率を押し上げる要素になる。認定こども園は逆に人件費も含め経常経費を圧縮できる減少させる方向。事務事業の見直しを含め行財政経営マネジメントを機能させていくことが求められている。やりかかったところ。
49	つながりで笑顔を未来につむぐまち	石田・弓木地区	7/8	会場	① 保育園統合により保育士や先生が余ってくるが、その対応は。 ② 統合がない時でも正職員の保育士が一般事務に移っているが。	① 臨時保育士が多く、段階的計画的に採用人数を抑えていく。過去にも一般事務に移ることがあった。公共施設の統合ではありうるだろうと考えている。 ② 施設を統合するとこれまでより多く一般事務職へ移る職員が出てくるのご理解をいただきたい。
50	みんなが自分らしく幸せに生きるまち	石田・弓木地区	7/8	会場	病児保育施設の新設について詳しく。	病気になる子どもを預けることができる施設。北部医療センターの先生の巡回や看護師医療の面からのサポートを行う。病気の子どもを受入れることが困難だったものを本年10月から開所する。
51	美しく住みやすい安心安全なまち	石田・弓木地区	7/8	会場	男山の不燃物処分場、最近多くのごみが搬入され満杯近くになっている。いつまで使用できるのか。新設するのか。	感染症など長期閉鎖は避けなければならない病気の子どもを預かる保護者への支援センターの施設と町内三か所の処分場ともに計画期間があり、まだ対応年数があると思っている。
52	美しく住みやすい安心安全なまち	石田・弓木地区	7/8	会場	全町的に個人の屋敷から道路に向かって枝木が出ているが、広報等で呼びかけを。高齢化で困難な方もあるので相談にのるなどの呼びかけを。	道路管理者からの立場で申し上げると個人の財産であっても適正管理に努めていただく必要がある。建設課とも相談検討する。
53	美しく住みやすい安心安全なまち	石田・弓木地区	7/8	会場	昨年も言ったが、防犯カメラの設置の考えは。パトロールや立番でも隠れた目の届かない所はあった方が安全では。	町議会や新聞報道等見守りパトロールされている方からの提案がある。当町において減少傾向にあることを認識しメリット・デメリットを検証していく必要がある。この地域を守り育むためにお互いを信頼し合い見守りながら育っていくと申し上げてきた。教育的な観点の議論もある。犯罪・交通事故発生件数が減少傾向にあるのは、見守りや防犯活動等人を介したコミュニティの活動が結果をもたらしていると考えたとお互いを信頼し合いながらの地域づくりを進めていくことが最も適した方法だと思っている。
54	住民が主人公となるまち	石田・弓木地区	7/8	会場	町政懇談会のアンケート用紙の記入方法、回答の有無の欄を作ってほしい。先日の教育委員会の説明会アンケートには、回答有無欄がありよかった。	町政懇談会の回答は、ホームページや広報誌でお知らせしている。ご提案を共有する。ホームページでもご意見を賜っており、匿名でない場合はお返事もしている。
55	住民が主人公となるまち	石田・弓木地区	7/8	会場	建設課へ要望や尋ねた際、文書での回答は一切ないと言われた。出せない法律的根拠があるのか。	色々なケースがある。府の事業との区別が難しい場合もあるので、町に尋ねてもらったらよい。要望事項が主だった。毎年区の選別もあるので区を通してもらっている。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
56	美しく住みやすい安心安全なまち	石田・弓木地区	7/8	会場	昨年8月から消えた外灯があるので、修理を。地域の防犯担当に伝えたが、3月に町から連絡があり予算がないとの返事があった。今も消えたままだ。	直ぐ調査する。
57	美しく住みやすい安心安全なまち	石田・弓木地区	7/8	会場	山手線の通学路、木や枝が歩道に出ていて危険である。定期的に見まわりや伐採を。	現場を確認する。
58	住民が主人公となるまち	岩滝地区	7/10	会場	AIの時代だが、住民票等をコンビニ等で取れるようにならないか。役場の開庁時間に行けない人も多いと思う。	AIについては行政についても導入は今後加速すると思われる。コンビニ等で発行できればということだが、条件整備するには多額の費用が掛かり、今の状況ではまだまだ議論が必要。簡易な諸証明の発行なり、通常の戸籍等になると庁舎に来ていただくことになると思う。方向性としては、役場が開庁していてもAIを活用して取れるようになると思う。
59	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩滝地区	7/10	会場	岩滝小学校の保護者からランドセルが重いという話があり、少しでも軽くするため置き勉ができればとも言われている。他の地域ではランリュックが導入されており、ランリュックはランドセルの半分の重さになると聞いている。先生に言ったが岩滝小学校だけでは対応できないということだったので、町全体で取り組んでいただけないか。ランドセルは高額化しており、他地域ではランドセルいじめなども起こっている。町としてランリュックの推奨をしてもらえないか。	町内ではどの学校もランドセルを背負っている。ランリュックについては議論して検討していきたい。置き勉については、学校で教科書などのものがなくなったということになると、別の問題でいろいろ考えなければならないので検討が必要。ご指摘の点については協議していきたい。
60	美しく住みやすい安心安全なまち	岩滝地区	7/10	会場	去年台風が直撃した時、ポンプをフル稼働して放水してしのいでいたが、1台では効かず、消防車2台で排水してやっとだった。宮津地区の畑から野田地区に大量の水が入ってきていることがわかった。台風が直撃するようなことがあれば今後どうなるかと心配。側溝が小さく、海に流れるのが1本しかない。ポンプをもう1台つけて排水するとか対策してほしい。一番いいのは大きい側溝を造ってほしい。昔なら一気に降ることはなかったが、最近の豪雨では毎回不安。早急に考えてほしい。	ご提案を含め改めて検証しながらどのような形で抜本対策ができるかを考えたい。
61	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩滝地区	7/10	会場	大津市で痛ましい交通事故があったが、子供達を守る交通安全対策を新たに検討されているか。橋中の横断歩道の白線が消えているとか細かいがそう言ったところから直してほしい。	教育委員会とも連携しながら進めていく。横断歩道の白線、ガードレールの設置などもやっていきたい。岩滝地域においては、ゾーン30の拡張を進めてきた。住民の皆さんにも立ち番や見守りをお世話になっており、これらを強化していければと思っている。大津市での事故は教育関係者も衝撃を受けている。幼稚園も留意して園外保育をしてほしいと思っている。橋中前の横断歩道はゼブラゾーンと被っており、横断中の生徒と車が接触する事故があり、土木事務所と連携してコーンを3本設置した。橋中のHPでも写真を掲載し広報している。そうしたハード面の整備と、横断中は先生方に旗を持ってもらわないといけなかなと思っている。
62	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩滝地区	7/10	会場	知らない間にコーンが設置されており、車が当たった後があるし、近所の人でも車が当たった音を聞いている。以前も知らない間にコーンが設置されてしばらくして撤去されていた。設置については近所の人に説明した方がよかったですのでは。(橋立中学校)	以前はスクールバスが入れないことや除雪の関係で撤去した経過がある。近所の方への説明が不十分であったかもしれないが、子供達の命を守るため早急に対応した。
63	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩滝地区	7/10	会場	運転者は横断歩道の前で止まらないと違反だが、立っておられる先生も車を止めるようにしないと。曖昧である。(橋立中学校)	指導していきたい。
64	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	岩滝地区	7/10	会場	加悦地域で企業誘致してクロレラの会社が来ると聞いたが進んでいないようだが現況は。	会社の経営方針の見直しにより、延期になると聞いている。男山地域に織物の会社が稼働しているし、今後も立地したいという企業も聞いている。お声かけいただいた企業の要望、地元企業との相乗効果も鑑みながらしっかりと立地を進めたいと思っている。機械の設置、人員配置について再度検討をされるが、物件はすでに購入されているので、延期はされたが進められている。
65	美しく住みやすい安心安全なまち	岩滝地区	7/10	会場	野田地区から国道に出る時に坂道になっている場所が夜暗い。夜に制服を着た学生が自転車に乗ってきたら見えない。いつか誰かが学生を轢いてしまうかもしれないので、街灯をつけて明るくしてほしい。坂道になっているので雪が降ると車が上からこないこともある。	国道になるので京都府との協議になると思うが何らかのアクションは起こしたい。
66	美しく住みやすい安心安全なまち	岩滝地区	7/10	会場	野田川河川の浚渫について対策をお願いしたい。	野田川本流の浚渫は毎年要望いただいている。引き続き京都府に要望していく。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
67	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	<p>① 町長の話の中で、忌憚のない意見をということだが、忌憚のない意見を出して聞いてもらえるのか。忌憚どころか必死の思いであれだけの人数で出した請願がほとんど聞いてもらえない。「深化と挑戦で切り拓く」ということを言われてたが、どういうまちづくりを深化挑戦されようとしているのか。こんな状況でまちづくりを深化させられたのは困る。ほんとに聞く気があってここにこられているのか、最初に聞いておく。</p> <p>② 公共施設の計画を再検討してほしいという住民の必死の願いというのは検討することができないか、ということはどういう回答をされているのか。</p> <p>③ 請願の趣旨は、計画をいったん止めてもらって、住民と一緒にまちづくりを含め再検討してほしいということ。総合計画、将来像を住民の中で作ったということだが、同じようなことをこの問題でもやってほしい。出したことにそちら側だけで検討して回答されるのではなく、もう一度お互いが一緒に考え直す、そういうテーブルについてほしいというのが趣旨。そこについては全く反映できないというわけか。そういう姿勢に立てない町が、さきほどのまちづくりや町政懇談会というところにまづ引っかかる。なぜ再検討が、住民と一緒に考えるということができないのか。</p> <p>④ 住民参加で十分練ってもらったというのは、もちろん理解している。それを理解したうえで、住民の多くの人たちが請願を出さざるを得ない、ということの理解をしてほしい。住民としては、議論していただけないと思っている。</p>	<p>① 例年町政懇談会を開催し、いただいた意見については、反映できるものは反映し、反映できないときは丁寧に返すということに努めてきた。本日いただく意見についても議論させていただき反映できるものは反映していく、無理なものは無理と回答したい。</p> <p>与謝野町の町民憲章の理想像があるが、住民の皆様が共に議論して作り上げてきた将来像である。その将来像を実現していくため第2次与謝野町総合計画を策定している。この総合計画も、2018、2019年度の2か年にかけて2,000人を超える住民の皆様と議論をいただきまとめあげてきた計画である。これらをしっかりと前進させていくという大きな方向性を持っている。</p> <p>② 昨年12月6日、野田川地域の社会教育施設のあり方、認定こども園の設置の場所の選定について、大変多くの住民の皆様の名を付けて要請書という形で要望が届いた。受け取って以降、請願団体の皆様とも協議を進めてきた。そうした中で、意見を出していただき、その意見に対し検討を深め見直しを行った中で、再度提案させていただきたい。住民の皆様からいただいた意見は、しっかりと検討した上で議論を進めていきたい。</p> <p>③ 野田川地域の認定こども園の設置計画についての議論は、庁舎内の職員だけで練り上げてきたものではない。複数の委員会等の議論を踏まえた上でまとめた。現計画案についても住民の皆様方の参画をいただきながら推進してきた。</p> <p>④ この計画案については、まだ住民の皆様にとお伝えできているという段階ではない。これまでいただいた意見を整理しつつ、現計画案の住民の皆様へ対する周知の努力をさらに重ねる必要があると思っている。そうした中で様々な意見をいただき、議論を通じて意見交換をさらに強めていくことができると思う。</p>
68	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	予算の中で、加悦小と石川小のトイレの洋式化があがっているが、三河内小はいつごろに予算化されるのか。	石川小には今のところ洋式トイレが全然ない。もし怪我をしたときに使えるような洋式トイレをどの学校にも一つくらいは設置したい。今のところ三河内小にはあるので、ご理解いただきたい。加悦小は、来年度の新加悦小学校の設備のために洋式トイレを設置。三河内小のエアコンについては、17教室にエアコンを設置していきたい。現在工事をしている最中。
69	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	三河内幼稚園が統合されて施設が空くがどのような検討をしているのか。	閉園後の活用については、町有財産を有効に活用していこうという委員会を庁舎内で持っている。幼稚園なので子どもが集まる環境をと思っており、実際に町内で活動されている団体からも活用したいという要望を受けている。そうした要望も議論しながら、園舎の有効活用をしていく。
70	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内地区	7/30	会場	加悦と野田川の図書館が閉鎖され、二つを一つにするという話がある中で、できれば三河内幼稚園も、学童保育プラスアルファ図書館になればいいと思う。三河内の公共施設は、公民館と学校と山の家くらいしかないの、幼稚園をいろんな分野で活用していただけたらと思う。	加悦地域と野田川地域の図書館の閉館については、去年の6月に社会教育施設の統廃合でパッケージで説明させていただいた。方針自体は今の段階では変わっていない。先ほどからの中央公民館や体育館等の問題、それから加悦地域公民館の大ホールを使わせていただきたいという公があり、図書館は当面統廃合していくことは難しい。3年とか5年というレベルではひとつには出来ない。地域公民館は、大ホールを3年少しの期間は今のままで使わせていただきたいと説明会で説明させていただいている。3年プラス何年かは難しい。三河内幼稚園を活用し図書館にというのは、これからの議論になる。
71	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	三河内の学童保育も場所を借りている。三河内幼稚園のすべてを学童保育にするほどの人数かどうかはわからないが、できれば両方に活用していただきたい。	三河内の学童保育は民間の施設を貸していただいております、古い施設でもあったのでできれば新たなところにもっていきたいが、即、三河内幼稚園を学童保育にすることは今後の議論になる。町有財産活用検討委員会の中で議論しながら、三河内幼稚園の今後の活用については決まっていく。おっしゃったことも1つの案。
72	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	<p>① 三河内幼稚園の前の道路は幼稚園の私有地になっている。ところが実際は、あの辺の住民の方の生活道路になっており、中岡墓地の参道にも必ず私有地を通らなければいけない。閉園後も今のまま使えるのかどうか、逆に使えないと非常に困るのでその辺を確認したい。</p> <p>② 調整ではなく確約がいただけないか。</p> <p>③ あの道路は町道ではなく、町が持っている私有地ということか。町の財産ということであれば、町道にするのはそんなに難しいことではない。売ったりされたら道がふさがれてしまう。</p>	<p>① 生活道路になっていて、確かに墓地もあり、幼稚園を通って民家もあるので、後の利用はどうなるかは別として、地元の方々に迷惑をかけることになると大変なので、しっかりと協議して調整したい。</p> <p>② 確約はできないが反映していきたい。あそこには防火水槽もあるので、計画案がまとまれば地元の方々に事前に区長さんを通じてお示ししていかなければならない。</p> <p>③ 町道にすることは可能。しっかりと迷惑がかからないようにしたい。</p>
73	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	三河内地区	7/30	会場	現在道の駅になっている丹後王国は、野田川町の時代か忘れたが、もともと共同出資してつくられたと聞いている。以前は町民にパスを配られ、来てくださいということがあったが、その精算はどうなっているのか。	今は「食のみやこ」丹後王国になっているが、母体は京都府と関係市町村が出資して会社を設立しており、今でも対応は変わっていない。運営は違う会社がしているが、施設関係はすべて京都府が主導をとった形になっており、与謝野町としてもいづらかを出資している。町からも職員なり理事なり監事として、年に数回会議に出席している。多くの来場者はあるが、経費も大きくかかっており運営状況は非常に厳しいと聞いているが、隣にあるホテルは、海の京都DMOの関係で観光客のインバウンドにより好評で、何とか経営を維持していると伺っている。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
74	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内地区	7/30	会場	中坪町内の総会が終わり駆けつけた。総会で、中坪町内の防火水槽を中坪会館の敷地の一部に移転することが、全員一致で可決されたので速やかに実行していただきたい。 三河内では降雨のときに、昨年一昨年と続いて遊水が家屋を襲い大変な被害が出ている。水路解析などしてもらい、どうしたら湧水がなくなるか三河内区民にわかりやすく説明いただく機会を持っていただきたい。降雨の状態が10年前とは変わり、全国各地で思いもよらぬ降っている。十分に対策をしてくれというのやぶさかでないと思うが、三河内全体の問題として考えていきたいので、町でも湧水対策を考えていただきたい。今日のように防火水槽を移転一部経路を変えることができるとしても、上の方の浸水を止めることは出来ないという問題もある。例えば具体的に言うと、迫本修さんの住宅の中には50cmから1m浸水する。そういうことに対する対策を我々民間でするのは不可能なので、その辺も含め抜本的な解決の方法を考えていただきたい。町のほうも気にかけていただいているとは聞いているが、もう少し具体的に前駆的に検討していただきたい。	本日中坪町内の総会で決定された案を確実に推進していくことをお約束させていただきます。 治水、治山という観点で研究・調査を進めている。研究を進め住民の皆様にお示しできるような計画案等ができた際には相談させていただき、抜本的な浸水対策を実現できるよう努力していきたい。
75	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	いろんな施設の統合の案が示されているが、私は文化財審議委員をしている関係で、文化財に関して、文化財の収蔵庫が全く足りない状態になってきている。文化庁も要らないものは売却してもいいという方針を出しているが、この地方で育った文化財は大切に保管していきたいと考えている。文化財の委員会についても、学者の方が中心となっているが、もう少し地元の人間を入れていただかないと、旧加悦町時代の加悦町誌を作った学者の先生がほとんど占めているようでは、野田川と岩滝が蚊帳の外に置かれているように受けとめられるので配慮をお願いする。	文化財の保全と活用については、文化庁でも大きな政策的な転換が図られつつある。保存と活用を両輪で回していくという方向性で、全国各地の文化財を有する市町村が努力を始めている。文化財は、活用も大切だがしっかりと保存がなされなければならない。そのためには環境の整った収蔵庫の整備が必要。改めて与謝野町全体の文化財の現況を確認し、収蔵庫の設置が必要か、あるいはどのような形で解決できるのかを議論し報告させていただきたい。
76	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内地区	7/30	会場	三河内区では一番大きな問題は浸水。ここ2、3年の雨は非常に激しく、今後も続くだろう。予算としてハザードマップ440万円とあるが、どの程度のものか、新しく見直していただけるのか。	今回のハザードマップは、以前配布させていただいたものより最新の情報を加味したもので、府が1000年に1度の大雨、24時間雨量600ミリに近い雨が降った場合を想定した資料が元になっている。1000年に1度という相当な雨量を前提としているので、ほとんどの平坦な場所は浸水エリアの表示になるのではと思っているので、浸水の深さを細かく色分けしたものを作る。
77	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内地区	7/30	会場	① 野田川の浚渫の問題。今年の予算で堂谷橋から治金の堤防までは予算はついたか。その先も上上がっていただけと思うが、上げた砂を置くところがなかなかないということで、この話がつけばスツと聞いて聞いているが、この問題はいつ頃解決するのか。はっきりしてもらって早く計画を立てていただかなければこの問題は解決しない。 ② 一日でも早くしていただかなければいけない。	① 浚渫した砂の捨て場がないと、京都府もそこに集中的に浚渫に入ることができない。建設課でもそれがないと浚渫もままならないということになるので、いくらかは用地の検討はしているが、住民の皆様の用地の提供や、林地等規制がかかっていて活用できない等、いろんなハードルがあり進んでいない。方向性としてはいよいよ町が管理する残土捨て場を考えていく時期にきているが、何年後にできるとははっきりと申し上げることはできない。 ② 野田川の河川整備はまだまだ発展段階であり、国、府の予算増額が必須なので、引き続き河川改修期成同盟会の皆様と要望し続けていきたい。
78	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内地区	7/30	会場	今の園舎が建つ1年前に、私は三河内幼稚園の本部役員をしていて、町政懇談会で茂籠町長に、「どうか三河内幼稚園をよろしくお願ひします」と言わせていただいたのが25年前。今回幼稚園がなくなるということになり寂しいが、園児の数も減っているので仕方ないと思う。昭和23年に、三河内小学校の木造校舎の一角で三河内幼稚園がスタートし、71年の歴史をたどって、その間行政と相談しながら三河内の住民の方々が幼稚園を作って作って作って、地域の幼稚園として歴史をつないできた。子どもたちには暖かい気持ちで諸先生方に教えていただいた。そういういっばい詰まった幼稚園がなくなることは寂しいが、先ほど言われていたように幼稚園前の道が使用できなくなることは困る。地域住民が活用しているので、副町長は検討するといわれたが是非ともお願いしたい。幼稚園を事務的に閉鎖するのではなく、これまで住民が育ててきた三河内幼稚園というところを認識してほしい。	三河内幼稚園は、お亡くなりになった江原さんも時々園舎に赴いていただきお世話になっていた。ご意見いただいたように、多くの住民の皆様が大切に育ててきた園舎なので閉園までしっかりと協力して。同時に現在実行委員会で閉園の取組を進められていると聞いているので、そうした皆様への支援も確実にしていきたい。 幼稚園の跡地活用も、いただいた様々な提言を踏まえて、どのような取組みができるのか今年度中に目安をつけたい。
79	つながりで笑顔未来につむぐまち	三河内地区	7/30	会場	こども園について、町長はわーくばる周辺に園舎を建てるのが一番良いと言われたが、そこに建てるなら体育館や中央公民館などをすべて取り壊す必要がある。住民感情と、野田川の主要施設を取り壊すことを天秤にかけた場合、どちらが大切か再度考えてほしい。こども園はその周辺にでも建つと思う。	現在掲げている計画案は、施設の利用者の皆様や住民の皆様への丁寧な説明が必要不可欠。施設利用者に対して経過説明をしているところだが、理解が得られたということではない。引き続き代替施設の提案もしながら協議を進めていく。この計画案は、施設利用者だけの問題ではなく、地域住民の皆様を考えを聞かせていただく必要がある。皆様に丁寧な説明をさせていただきながら議論いただき、意見をしっかりと受け止めるようにしていきたい。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
80	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	<p>野田川の地域にとってはこの問題は大事な事。今日は資料があるかと思っただけで全く無いということだったのでびっくりした。説明を聞いてメモしたので間違っているかもしれないが、四つの内容でその場所に煮詰めたと言われた。</p> <p>一つ目は立地がいいということ。この点では4つの施設をつぶしてそこにつくらないといけないという理由にはならない。</p> <p>二つ目は防災と言われたが、土地も低い今までが大丈夫だからというのは全く通用しない。今までがこうだからということで災害対策に取り組んでもらうのではなく、今までと全く違う状況だということで災害対策も新しい取組みもやってもらわなくてはならない。先程の説明だけでその地域が安全ということにはならない。</p> <p>三つ目に地域振興と言われたが、一つ目にあったようにすごくいい立地だからこそ体育館だとか公民館だとか図書館だとかをつぶすべきでない。</p> <p>四つ目に防犯だと言われたが、あそこで住民の目は届かない。</p> <p>いずれにしても、住民として、これが適正だと判断されているということに理解できない。しっかりと伝える段階でないとされたので資料がないのも理解したが、今日言われたことだけでも納得できない。私の感情とはあわない。請願を出したように、もう一度住民と一緒にゼロからつくり直してほしい。議論を積み重ねると言われているが、この間の説明会では、感覚的には聞いてもらえるとは思えないような内容のキャッチボールとしかうづらなかつた。本当に議論を積み重ねていこうという姿勢があるのか、ここは一旦止めてもう一回やりませう、という姿勢をはっきりと示されたほうが、まちづくりを深化させるのにふさわしい。請願の重みを受け止めてもらい、新しい姿勢で意見を積み重ねていっていただきたい。</p> <p>また、三つ目の地域振興で、施設の再投資が難しいと言われていたが、先程の答えで代替施設の提案はされると言われた。それは、再投資はしない形での代替施設の提案という意味か。</p>	<p>計画を立てていく中で、様々な住民の皆様からの意見を受け止めながら進めていきたい。計画案については、施設の利害関係者や議員の皆様に対しての説明しかできていないので、これから住民の皆様にも説明し、いろんな意見をいただき検討していきたい。</p> <p>再投資をしないという前提での代替案の提案かという質問であるが、そのようにご理解いただきたい。町内の施設を活用できるのではないかとすることで一定の代替案をまとめている。代替案を提案させていただき、様々な意見があるかと思うので議論を重ねさせていただきたい。</p>
81	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	<p>公共施設の統廃合について、別途またこういった懇談会を設けるといって進めてもらいたい。</p>	<p>町政懇談会については、例年のようにまちづくり全体の話をしていただきたいという趣旨で本年度も開催をお願いした。今後この野田川地域の認定こども園のあり方は広い議論が必要。どのような形でということはこれから検討したいが、住民の皆様に対して計画案をしっかりと説明する機会を設けていきたい。8月中の予定だが、今日から5箇所の町政懇談会で認定こども園のあり方についても提案したい。また、お盆が明けてから子育て世帯に対する説明会を、また施設利用者向けの再度の話し合いを進めていくというのが当面のスケジュールで、これについてはまた声掛けをしたい。</p>
82	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	<p>格好のコミュニティの場所をそこまでしなければならぬのかと疑問を持っている。町長は、地域振興だから新しいものを建てると言われたが、果たしてこのことが地域振興につながるのか。野田川の住民にとってはこの問題が一番気になっている懸案なので、いろんな意見が出ると思うが、器を大きくして聞く耳を持っていただきたい。一方的に高いところから押しつけるのではなく、懐の深い考えで対応してもらわなければ何のために提案したのかという懸念も生じる。</p> <p>総務産業委員会の方々から京丹後市に視察に行かれ、京丹後市の小学校の統廃合について160回ほど現地の方々との会合でやりとりを持ったという報告があった。私たちが町長と話させていたのは5、6回である。こんなもんでケツ拭かせてもらえたらとんでもない。やはり何回もキャッチボールをしてもらって、誰もがよい町にしたいと思っているわけなので、思いを汲み</p>	<p>引き続き協議をさせていただきたい。</p>
83	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内地区	7/30	会場	<p>昨年、町民の声を町政に届けると言う公約を掲げて議員になられた方が、請願審査においては、滑稽で不思議で、ほんとに町民を裏切るような議会を展開された。12月から早や7ヶ月がたったが、いっこうに町民が納得できるような答弁をされていない。三河内においては、約1,000名の署名が集まっている。町民のための町政、町民の声に耳を傾けて施策を立てるのが町長の仕事。町が強行姿勢をとって実行されると、町に対する信頼であったり町民の間に軋轢が生じたりして、残念な町の運営になっていくと思う。若い山添町長にはこれからの与謝野町を担っていただきたく期待しているので、再検討をしっかりとさせていただきたい。</p>	<p>計画した案はまだ住民の皆様にも広くお知らせできていないと思っている。住民の皆様への説明を通じ、様々な意見や提案もあるかと思うので議論が深まるよう努力していきたい。</p>

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
84	つながりで 笑顔未来 につむぐま ち	三河内地区	7/30	会場	町長が認定こども園のことで4点のことを言われて私もびっくりした。要するに、認定こども園を早く建てたいからあの施設を壊さないといけない、という段取りになっている。認定こども園は野田川庁舎のところでいいと思う。平屋にしたら運動場が取れないので3階建てくらいにして1、2階を保育園、3階を町民の場にしたらいいと思う。 45年ほど前に三河内に来る前は幼稚園に勤めていたが、三河内幼稚園には絶対に子どもを入れたくないと思った。幼児教育なのに、すくい上げの気持ちがなく切り捨ての教育だったのがいやだった。だから聖三一幼稚園に子どもを入ると主人に言ったら、まあそんなこといわんと言われ入れたが、その時に全国的に有名な教育評論家の先生が野田川町に講演に来られ、話を聞きに行ったとき、「お母ちゃん、あんたの実家はどんな立派なところか知らんけど、あんたの子どもは野田川町で生まれて野田川町の子どものとして羽ばたいていくんや。野田川の子供として育てていかなあかん」と言われて反省した。子どもは地域の中で育てなければいけない。動物園ではないのであんな離れたところに置かなくても、野田川庁舎のところなら地域の方たちも手を振ってくれるし、園庭が狭いということは、4歳児5歳児だったら町民グラウンドまで十分歩ける。屋根のついたゲートボール場もあるので運動会もできるし、何より、私も昔山岳会にいたので与謝野町に森林公園ができてすぐうれしかった。私の期待していた森林公園と違ったのでちょっとがっかりしたが、子どもたちが自然と戯れるのには森林公園は向いている。四辻にこども園を建てるのは、幼児教育の観点からみてすばらしい立地条件。将来を担う子どもの発達を願い希望する。結果はどうなるかわからないが一度知恵を絞って検討してほしい。	幼児教育・保育のあり方については、現場に入っている先生方、専門家の皆様の話も聞きながら、本当に子どもたちにとってよい環境とはどうなんだろうといった議論をしながら、施設のあり方も決めていかなければならないと思うので、いただいた意見についてはご意見ということで承りたい。
85	住民が主人 公となるま	三河内地区	7/30	会場	野田川をばらばらにしたいのか。	そんなことはまったくない。
86	魅力ある教育 が活力ある 人や地域 を創るまち	三河内地区	7/30	会場	① 繰り返し、意見を聞きながらと言われるが、施設をつぶすことはやめない、変更しないと言っておられるように聞いている。聞くのは聞くけど変えられないということか。どンドン意見を言えば、内容を検討して、施設をつぶすことも変えることがありうる、結果が決まっているということではなく、さらの状態で意見を聞かせようということか。 ② よい案があったら施設をつぶさないというのもありうるのか。	① 私たちが作ってきた計画案よりもいい意見があれば積極的に検討していこうということ。 ② それも考えていきたい。
87	美しく住 みやすい安 心安全なま ち	三河内地区	7/30	会場	野田川の浚渫で、砂捨て場がないということであったが、例えば町民グラウンドや阿蘇シーサイドパークを1m嵩上げすればできる。ないなら作っていかないといけない。そういうアイデアをもっと出してほしい。町民の方々はアイデアを求めている。私が聞いているところによると、各課長や副町長やいろんな方が町長に提案しても、ちっとも聞いてもらえない。千個提案しても一個も聞いてもらえない。考えもしてもらえない。非常に残念だと聞く。町長には耳の痛い話かもしれないが、町民の方からは、山添町長は岩滝町長であって与謝野町長でないという剣幕で聞こえてくる。わーくばるは、宮津与謝でも大きい駐車場の施設となっている。宮津からも非常によく使われていて、安全運転協会の講習などもやられている。あそこを壊されるのは与謝野町だけの問題ではない。今宮津市より与謝野町のほうが人口が多いのだから、もっと与謝野町は主導権を持ってほしい。自分の町に誇りを持って、宮津市をコントロールするくらいの力を持ってほしい。野田川の浚渫ができないなら、町民グラウンド、或いは各小中学校のグラウンドを1m嵩上げすれば、橋中などはずいぶん違う。そういうことを考えていただき、もっとフリーなアイデアを多投するような考え方を持っていたきたい。それでこそ貴方を応援できる。	残土捨て場は、提案いただいたように阿蘇シーサイドパークをさらに延伸させるなど、いろんな検討をしてきた経過がある。現在、残土捨て場の候補地も一定選定しかけているところ。しっかりと調査をしたうえで皆様にお知らせできるよう頑張っていきたい。
88	住民が主人 公となるま ち	上山田・ 下山田地区	8/9	会場	① 趣旨採択について意味を教えてください。 ② 仮に反対の議員を説得し、賛成議員が過半数を超えた場合、改めて採択することは可能か。	① 趣旨採択は請願者の思いは趣旨として採択したいということで、このたび議会は判断を行った。 ② 前回と同じ内容の請願であれば、受け付けてもう一度審査をするが、どのような判断になるかは分からない。
89	魅力ある教育 が活力ある 人や地域 を創るまち	上山田・ 下山田地区	8/9	会場	岩滝体育館について、今後耐震補強をして長寿命化を計る計画となっているのか。	公共施設実施計画の中に、今後耐震化等が予定されている。
90	魅力ある教育 が活力ある 人や地域 を創るまち	上山田・ 下山田地区	8/9	会場	野田川の町民グラウンドをこども園の用地にできないのか。野球等で使っている人は加悦のグラウンドを優先的に使うようにしたら理解を得られるのではないかと。現在の体育館を閉鎖することは反対が多いと思う。	野田川のグラウンドを用地にすることも議論の中で話の遡上に上ったことはあるが、197を超える公共施設を財政的な面を考え極力少なくすることを基点にしている。また、安全面についても計画地にはわーくばるがあり、子供たちの様子が町民の目につきやすい。また、野田川のこども園については250名程度の定員となる予定だが、送迎の車が集中することとなり、それを回避するためにも計画地が良いと考えている。防災面についてはこれから検討が必要だが、計画地は野田川の中心地のため、こども園を基点として新たな地域振興の可能性があると立案している。
91	魅力ある教育 が活力ある 人や地域 を創るまち	上山田・ 下山田地区	8/9	会場	Q小学校の統廃合について、こども園や幼稚園は小学校の近くにあることが理想だと思うので、小学校とこども園の建設は同時に行ったほうが将来的に良いと思う。	野田川地域の小学校再編は校舎の耐用年数も調査しながら、皆様とお話しをしたいと考えている。次期学習指導要領に基づいて、できる限り一定の人数をもった学級で学んでもらい、将来を生きる子供たちに力を付けてもらいたいと考えている。野田川地域の小学校再編はおよそ40年度を目処にしている。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
92	住民が主人公となるまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	庁舎は加悦庁舎へ一本化したほうが良い。反対はあると思うが説明して理解を得る必要がある。	平成27年に与謝野町庁舎の建設を目指すということで基金条例を設定している。その趣旨は将来的に本町の中心地に庁舎を建設するというもの。その方針を持っているので庁舎のあり方については議論をしている。
93	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	野田川体育館を与謝野町民体育館としてリニューアルし、岩滝と加悦の体育館は地元払い下げし町が管理する体育館を一つだけにする。そうすれば、体育館も庁舎も一本化でき合併の成果と言えるのではないか。	ご意見として伺う。
94	みんなが自分らしく幸せに生きるまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	町の財政が大変厳しい中で、クアハウス岩滝の改修は早急に行う必要がある事業だったのか。生活に必要なものにお金を使うべきではないのか。	クアハウス岩滝の改修については、老朽化している中で議論を重ねた結果、健康増進施設として改修することに決定した。地方創生交付金事業として30年度に交付金が入り、これは大変有利な交付金であり、町の負担を減らすことができた。この期を逃すとなかなか改修ができないため、今回改修を行う。4億6千万程の事業費のうち、町の単純な持ち出しは6千万円となっている。
95	つながりで笑顔を未来につむぐまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	① こども園は町が建物を建てるのか。運営は町が行うのか。宮津市や京丹後市は福祉会に委託しているが、与謝野町は民間委託にして人員を削減する考えはないのか。 ② 1、2年で実施することは出来ないのか。具体的な会議は行っているのか。町が検討しているだけなのか。	① おっしゃったように近隣の宮津市、京丹後市では市の施設を民間の法人が運営している。民間のノウハウを活かしてサービスの向上を行っているということを知っている。与謝野町では保育園、幼稚園、こども園もすべて町が建物を建て、町の職員によって運営している。将来的に保護者のニーズが多岐に渡ると民間に委託することも選択肢の一つとなるが、現在は具体的には決まっておらず、これからの議論となる。 ② 意向調査は行ったことがあるが、具体的には行っていない。近隣の市の状況を研究し、実施するには保護者の了解も必要なことからまだまだこれからと考えている。
96	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	ホップは急激な暑さのなか栽培しても収穫は見込めるのか。温暖化が進む中で栽培する作物が環境に逆境していないか。	昨年と比べて、現在ホップの収穫量が少ないということは聞いていないため、影響は受けていないと思う。ホップはたくさん儲かるものではないが、栽培面積も増え、農家の方もビールになる過程を楽しんでおられる様子。
97	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	① 町のスポーツ施設の予約について、3か月前から施設の予約が出来るが、以前、宿泊施設が代理で予約しており町民が予約出来ない事があった。町民のための施設というなら、予約体制を町民と町外の人とで区別してもらえないか。代理で頼まれると調整が出来ない。豊岡市みたいに町外の方は予約できない、1、2週間前からしか予約が出来ない等工夫ができないか。 ② スポーツ施設の利用状況をネットで確認できるようにしてほしい。また、当日でも空いていれば使用できるようにしてほしい。 ③ 予約については本人しか出来ないということには出来ないのか。ネットに関してサイトを公開してもらえないか。鍵を近所の方に委託することは出来ないのか。	① 町内の方と町外の方は分けたいと考えているし、現在料金も分けている。しかし、町外の方から直接申し込みがあれば仕分けがやりやすいが、町内の宿泊施設であれば町内からの申し込みと判断しており、今回よろしくない結果になったように申し訳なかった。予約できる期間を分けることや、町内と町外の判断については今後勉強させていただきたい。 ② 利用状況については見ることが出来るが予約はできない。当日空いていれば利用したいという意見は他でも聞いており、可能ならば実施したいが鍵の管理ができるかが問題であり、なかなか難しい状況であるが、町としても空いていれば使っていただきたいので、なるべく使っていただける方向で改善したい。 ③ サイトについては京都府のシステムを使用しており、町独自のものではないので、好きなようにできないことをご理解いただきたい。鍵の委託の件については、加悦の体育施設については加悦地域公民館、野田川は中央公民館と公民館で実施している。近所への委託も選択肢の一つではあると思うが費用対効果を踏まえてということになる。
98	美しく住みやすい安心安全なまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	5月の中旬頃にわくくぼるで北朝鮮の拉致のことで集会があった。京都府内で18人ほど拉致被害者がいるのではと話があった。町としても是非講演等を行っていただきたい。	拉致について町が主催して広報等は行っていないが、講演の申請があれば依頼している。
99	つながりで笑顔を未来につむぐまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	① こども園について、どの施設を壊して、どうゆう形で残るのが周知が足りない。こども園を作る話ばかりで、無くなる話がない。8000人以上の署名は施設が無くなることに對しての不満、不安の署名である。また、この署名に対して議会で趣旨採択されたが、常任委員会で全会一致で採択されたものが、本会議で賛成した議員が別の動議を出して、それがきっかけで趣旨採択に変わったと聞いている。これは議会のやり方として瑕疵があるのではないか。署名が議会でもこゆう扱いを受け、町も丁寧に説明しないと不満がまだまだ残っていると思う。壊す施設を使う人に対して無くなる分をどうするのか、きちんと説明するべきだと思う。 ② 一般的過ぎて分からないので具体的にどのような提案なのか教えてほしい。	① 施設利用者に代替案の提案をしたいと思っている。現有の施設を活用し活動を支えられると計画しているが、その計画も町だけで突き進めて行くものではないので、提案、協議を行っていきたい。一般住民への説明はまだまだ足りないと感じている。今後も皆様の意見を伺っていききたいと思っている。 ② 例えば、中央公民館の利用者はわくくぼるの活用の提案や、体育館の利用者は町内の小学校、残り2つの体育館、加悦谷高校の体育館などを提案し一致点を探っていききたい。年間を通して複数回施設を活用しているのは40団体なので、個別に協議を重ねていきたい。
100	つながりで笑顔を未来につむぐまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	病児保育施設の新設とあるが、一番大事な働きのながら子育てができる環境だと思うので、町としてもそれを大切にして努力してほしい。	子育ての原点は家庭教育にあると思うが、日常生活の中で両親の負担を考えると、こうした取組を考えていかなければならない時代になったと思っている。しかし、両親が担っている保育及び教育をすべて公が担うのは好ましくないと思うのでバランスが大事だと考えている。
101	つながりで笑顔を未来につむぐまち	上山田・下山田地区	8/9	会場	こども園について、250人という大人数の中で安定した教育ができるのか。保育士の数に問題はないのか。もう少し保育士や保護者と協議してほしい。	野田川のこども園については200人から240人程度の定員数になる予定。0歳からの受け入れとなり、しっかりと見守る必要があるため、配慮しながら運営していきたい。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
102	つながりで 笑顔で未来 につむぐま ち	上山田・ 下山田地 区	8/9	会場	子供たちの話し合いを大事にしていこうということだったが、こども園ができ、小学校が合併すると保育園から中学校卒業まで同じメンバーの馴れ合いになるのではないかと。今後、中学校の合併も考えられているのか。	学年に2学級あれば学級編成ができる。人間関係が固定化してしまうといじめ問題等、窮屈になってしまうため、おっしゃるとおり、私もいろいろな子供たちと出会う機会を設けた方が良いと思っている。しかし、合併を行うと3学級になる場合があり、市場小学校には入らなくなるのももう少し推移を見ていきたい。中学校の問題については、いずれ考えていかなければならないと思っている。これから難しい社会になっていくが、皆が知恵を出し合い物事を解決していけるような素地を学校教育の中で作り上げたいと考えている。そのためには、人数、男女比の問題等、義務教育の人間関係が固定的にならないよう考えていく必要があると思っている。
103	美しく住 みやすい安 心安全なま ち	上山田・ 下山田地 区	8/9	会場	防犯と安全について、日々交通事故や事件が全国的に起こっているため、防犯カメラの設置が必要だと考えている。京丹後市もホームページで防犯カメラの場所も確認できるし、宮津市も観光客が増え、交通状況が良くなっているため、犯罪等が増えてくるとしている。与謝野町の駐輪場にはカメラが付いているが、いろいろな箇所に防犯カメラは必要だと思っているし、それが抑止力になると思う。設置については民間に補助金を交付する等、いろいろ方法があると思う。より強い安心・安全なまちづくりになればと思っている。	本町の現状は、交通事故及び犯罪件数について減少傾向となっている。この状況を作り上げるのができたのは、住民の皆さんの日々の見守り活動の賜物だと考えている。これは町内全域の見守り活動や防犯体制の確立というものが出来ており、この現状をさらに向上させていけるように、私たちが努力していきたいというのが基本的なスタンスであるが、防犯カメラを設置したらどうかという意見が増えてきたのも事実である。防犯カメラの設置における全国的な研究を調査している段階でありその有用性を確認することが、まずは大切だと考えている。その上で、防犯カメラを別の言い方をすると監視カメラということになる。住民相互又は行政が住民を監視することが適切であるかという慎重な議論が必要だと感じている。
104	美しく住 みやすい安 心安全なま ち	上山田・ 下山田地 区	8/9	会場	災害時の町内全域の避難指示について疑問がある。町内全域に避難指示が出た場合、避難先が公民館だが公民館は避難しなくて良い場所なのか。また、避難指示が出て避難しない現状をどう考えているか。例えば隣組単位など、本当に危ないところだけの誘導をしないと避難指示を出しても意味が無いので、行政は情報網を把握しているの、高いレベルできめ細かい指示を出してほしい。行政を守るための避難指示にならないよう、住民の生命と財産を守るための避難指示としてほしい。	災害から身を守るのは個人であり、自分の周りの状況を常に念頭に置いていただくのが大前提となる。避難所の体制も住民全員の避難は物理的に無理なため、自宅の2階に留まる等の手段も選んでいただく必要もあると思う。また、役場にはいろいろな情報が入る。行政はその情報を住民の皆さんに知らせる義務があるので、さまざまな状況を想定をしてしっかりと伝えていく。隣組単位での避難指示は無理だが、近年の災害情報は細かく伝わってくるので、避難指示を全町に出すのではなく、地区ごとに細かく避難指示、避難勧告はできると思っている。決して行政の責任逃れのために避難指示を出しているのではないことを理解していただきたい。
105	美しく住 みやすい安 心安全なま ち	石川地区	8/20	会場	① 石川地区の堂谷地域は野田川の下流にあり、土砂溜まりやすく、昨年・一昨年はタダノタニで激甚災害が起こった。その時の対応には感謝している。ただし、タダノタニの災害時の土砂は水戸川・野田川へ流れ込み、石田橋付近には大量の土砂が溜まっている。野田川の浚渫工事の進捗状況を知りたい。 併せて、野田川の河川改修の進捗状況と最終的にどうなるのかを知りたい。 ② 高速道路から堂谷橋付近、特に野田川、香河川、亀山川の合流地点では水面から3M以上は堆積している。下流で予算を使い、上流の工事が遅れると災害が起こってしまう。できる限り上流にも予算をつけて、実施することを切にお願いしたい。	① 浚渫工事については府により実施されているところだが、河口から石田橋付近までの、河川の底より一段上の部分の工事を行っている。さらに上流の部分については、残土処分費などが高額になることから金額を確定させてから実施されると聞いており、具体的な実施時期は不明。野田川の河川改修についても府により実施されており、現在は上流からリフレ加悦の里近辺まで実施できている。さらに支流については、現在、加悦奥川の天神橋付近の工事を行っている。野田川改修の完了時期は不明。 ② 浚渫工事については災害対応を考えたときに非常に重要であるため、常々府へ要望をしている。本年度はこれまで以上の予算を計上いただいた。この状況が続くよう、引き続き努力をしていくので、住民の皆様のご協力をお願いしたい。
106	美しく住 みやすい安 心安全なま ち	石川地区	8/20	会場	奥山川、香河川合流地点の土砂の浚渫は府民公募で実施が決定されたが、未実施である。台風までの実施を府へ要望することを頼みたい。 浚渫工事で生じた残土の処分地はどのように考えているか。町独自で選定もしくは広域的な方法をとるなど、どのように考えているか聞きたい。	香河川の浚渫の早急な実施を要望していく。また、残土処分場については、町独自で場所の選定をしているところ。町としては山の谷を埋め、河川整備を兼ねた処分方法を考えている。なるべく安く処分場を整備するため、最適地を検討しているところ。
107	美しく住 みやすい安 心安全なま ち	石川地区	8/20	会場	① 野田川全体でどれだけの予算が必要なのかの概算が知りたい。今年の予算はそのうちの何%なのかを知りたい。・河川改修関係で今年の予算は増額があったとのことだったが、昨年に比べてどの程度増額になったかが知りたい。・府の道路関係の予算は少ない。しているとは思いますが町からの要望が重要。 ② 河川改修場所は町からの要請で府が改修しているのではないのか。 ③ 野田川河川改修について町が要望を出している場所はどこか。	① 河川の災害対策に関して、京都府管理河川が災害の主な原因となっている。府の予算に関しては町ではわからないが、資料で示している1億250万円は町内の浸水地域の解消に伴う費用で、石川地区でいうと鞭谷川の改修費用が計上されている。他には明石川、ソブ川など。 ② 町は要望をするが、その際に金額を算出しない。金額の概算や予算化は府で行う。 ③ 野田川については野田川全体の改修として毎年要望しており、着実に実施してもらっている。河川は総体的な改修が必要になる。一つの河川の中の個別の一か所についての要望ではない。野田川の改修は上流に向けて着実に実施されており、現在ではリフレ加悦の里付近。加悦奥川は天神橋付近の拡幅を現在行っており、こちらも上流に向け着実に実施されている。防災上やはり重要になる浚渫は毎年府に要望している。ただし、府の予算の兼ね合いもあり、さらには国の動きによる影響もある。昨年度増加した予算というののも国の補正予算による影響だった。府も単独では予算が厳しい。議会とも協力し、府や国へ要望していく。 国の社会基盤整備に係る予算の変遷について、平成10年には15兆円あった予算が年々減少を続けており、近年では1/2以下になっている。しかし、ここ数年は増加に転じている。昨年度は3か年緊急対策事業として7兆円ほど補正された。今、可能な限り整備することが重要と考えており、直接はもちろん、町村会を通じて、要望を行っていききたい。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
108	住民が主人公となるまち	石川地区	8/20	会場	自分の隣組ではかつては10軒あったものの、現在では6軒程度になっている。 空き家対策事業について、知りたい。	平成26・7年に町内全域の空き家目視調査を行い、585戸の空き家を確認した。現在ではさらに増えていると想像する。 廃屋化している空き家に関しては、適正な管理をしてもらえるよう所有者へ連絡をし続けている。また、そうでない家屋の所有者で他人に貸す意思を持っている方には空き家バンクの登録を薦め、空き家の流動性を高めようとしている。 空き家の活用と地域の建築事業者などとのコラボレーションを推進させる制度を構築したい。同時に京都府との連携で移住を進める特区を設定することを考えている。この特区では空き家改修費用として上限180万円まで町が支出する制度を考えている。 こういった制度を活用していただき、移住対策を推進していきたい。
109	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	石川地区	8/20	会場	① 公共施設の問題について、住民からいろいろな意見がある中で、意見を取り入れるとは言っても、住民の議論をどう保証するのか。 認定こども園について言えば、200人を超える規模の認定こども園が子ども達にとってよいのかという基本的な問題について、すでに討議済みだと一蹴されるともう話にならないが、実際に全国的なこども園の現状から言っても、大規模な認定こども園は様々な課題を持ちすぎるので、今の野田川の現状でいえば、もう少し違う様々な方法が考えられる。 場所の選定についても、選定に係る四つの視点も聞いたが、他の場所を検討したけれども問題があったという情報が一度も町民には明らかにされていない。町の職員だけで議論されているようだけれども、町民にはこういう問題がこうあるという形で具体的にはほとんど提示されていない。そんな中でどういう議論を進めて、合意を得ていくのか。 ② その議論の中で出た課題などは、可能な限り明らかにしなければならない。その上で、どういう対策が採られていくのかの議論をしていく必要がある。話を聞いただけで終わらず、住民の声を聴きながら進める必要がある。	① 野田川地域の認定こども園設置場所の提案に関しては、複数の議論を行ってきた。一つには公共施設統廃合に関する議論。町内には197の公共施設があるが、中には時代の流れの中で役割を終えようとしているものや、少子高齢化などの社会状況の変化などにより統合した方が施設の設置目的をよりよい形で達成できるものがあると考えている。こうした中で、町内各地域の施設をどのように再編していくかという議論を行った。 もう一つには認定こども園のあり方については、子ども子育て会議などにおいて真剣な検討がなされた上で、方針が示されている。この方針掲げるにあたっては、専門的でない者だけでなく、専門的な知見を有する者との協同の中で作りあげてきた。 また、もう一つ重要なものとして小学校再編の議論がある。小学校の再編というものがそれぞれなされるべきであろうという議論が平成24年に具体的な形で示されたが、さまざまな方々の意見をいただきながら議論を一つ一つ積み上げてきた。 今回の提案はこれらを統合する形で提案したもの。今回の提案の中に住民の意見が入っていないということはないということは理解いただきたい。 今回の提案に関しては多くの意見をいただいている。施設の利用者への説明がまず必要としてこの間取り組んできたが、この問題については、当然一部関係者のみならず、住民全体のことであると考えているので、引き続き提案をしっかりと伝えて、意見交換を重ねていきたいと考えている。 今後の予定として、8月21日に与謝野町議会で全員協議会が開催される予定となっている。議員からは昨年12月から指摘もいただいている。全員協議会でこの間の動きをしっかりと説明したい。 また、8月21日夜、子育て世代への詳細説明をする予定としている。8月26日には野田川体育館や中央公民館を現在活用している方々への再度の説明を行う予定。その後は未定であるものの、例えばもっと少人数の団体への説明等を重ねていく方法もあると考えている。 ② 情報を伝える機会が少なかったと感じている。なぜこの取組を構想したのか、どういう理由で敷地の選定を行ったかということについて、説明をしっかりとしていくことが重要と感じている。しっかりと説明することで有意義な意見を集めることもできると考えているので、この構想を住民に届ける工夫を凝らしていきたい。
110	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	石川地区	8/20	会場	① 図書館をどう位置付けていくのか。 各地の図書館を巡って話を聞いたが、特に与謝野町のような過疎地で人口が減少している地域で文化を継承し、生涯教育していくにあたって、図書館というものは非常に重要である。ただ本があるのではなく、図書館をベースにしたまちづくりをしている地域が全国的に非常に多い。与謝野町にとっての図書館の意味づけを明確にすることが必要。 ② 体育館、中央公民館、図書館も含めて総合的に検討し、計画するべきだと考えるが、そういった進め方に対する考えを聞きたい。	① 図書館は重要と考えている。昨年7～8月に社会教育施設の統廃合について説明したが、当時から考え方は変わっていない。ただし、個人的には改めて考える必要があると感じている。特に、社会教育課が野田川の体育館・中央公民館の一件で手一杯で、その一件の後に図書館の議論をしていきたい。 宮津のミッブルの図書館は非常に人気がある。平成30年度から北部5市2町で図書館の共同利用ができるようになっており、与謝野町民の利用もある。 図書館というツールが非常に重要であると感じているので、位置付けについて議論する必要があると感じている。 ② 認定こども園については平成31年度にすべての整備を終えるという方針だったが、今年度までの達成はできない状況になっている。認定こども園の設置計画をしっかりと進めていくということが最重要課題と思っている。計画地の理解をいただいた上で、そのうち、図書館機能あるいは子育て支援センターのあり方について、例えば複合化できるかなども含めて考えていく必要がある

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
111	つながりで笑顔未来につむぐまち	石川地区	8/20	会場	<p>① 認定こども園にかかわって、場所というよりも、子ども園自体の話で質問したい。平成30年の第4回子ども子育て会議の会議録を見ると、20名の委員中7名が欠席で、計画や民営化も含めた重要な議論が、1時間程度だったよう。とても1時間で尽くされるものでない議論がなされているように見受けられる。岩滝地域の認定こども園は平成29年にでき、岩滝地域の小学校はもともと1校であるため小学校の統合と矛盾しない。加悦地域は、小学校3校、保育園3園あり、会議でも小学校の統合の問題と併せて考えるべきだと答申されている。加悦は小学校統合の議論が遅れたから、子ども園の議論も遅れた。小学校の統合の議論抜きに子ども園の統合を議論することはできない。野田川については5つの小学校の統合の問題はなんら議論されていない。野田川地域の子ども園はまだできないが、喫緊の問題があるから、小学校の統合はまとまっていないけど、認定こども園は1園作りましようという形でこの計画は進んできている。しかし認定こども園ができれば小学校の統合をしなければならなくなる。幼稚園は同じだが、小学校になれば別れるというのはおかしい。どんな反対意見が出ようとは自動的に小学校を統合せざるを得なくなる。こういった進め方が子どものためになるのか。子ども達の問題でなく、行政の手続きの問題になる。250人の規模の子ども園が本当によりよい保育が実現できるのか。0歳から6歳は、信頼関係や人間関係を楽しんでいくのに、人間の基礎を育てる最も大事な時期。250人の規模はプラスにならない。保育の限度を超えている。例えば運動会や学習発表会を分割しなければならなくなる。250人全員が集まることはできない。また一人の保育士につき10名、3歳児は15名から20名、4～5歳は30名が適正だと国の基準があるが、これは1960年ごろの昔の基準がそのまま残されているもので、先進国では一人の保育士につき8人となっている。子供たちの数は減ってはいるけれども250人という数字は維持されていく。子育てを大事にして、少子化対策でなく子育て支援を行えば子どもは増えていくはずで、増えていかなければならない。減っていくことを想定しているのでは困る。小学校の統合を先に考えれば、空いた敷地ができるが、子ども園を先に考えると、小学校跡地が浮いてしまい、無駄になる。順序立てた議論がもっと必要だと感じる。</p> <p>② 町の考えはわかったが、町民としての合意はなんら得られておらず、議論さえもなされていない。町民無視だ。10年ほど遅れる可能性があるとしても、今現在の保育園に対して、現場や町民から具体的な問題点や必要性が指摘されているのであれば、広く伝えてもらう必要がある。</p>	<p>① こども子育て会議は1年間で20回以上の議論と、委員会のみならず、委員が各地域に赴き、住民との対話を経たうえで方針を出されている。議事録にも濃密な時間が表れているので、ぜひ読んでほしい。そういった経過で出された方針のため、町もその方針を尊重し、町の施策として取り組んできたという点を理解いただきたい。また、小学校再編と認定子ども園の再編というのはセットで考えなければならないという指摘にはその通りで、岩滝地域、加悦地域については小学校と認定こども園とで齟齬が生じないように配慮しながら進めてきた。しかし、野田川地域においては事情が少し異なる。平成24年に示された野田川地域の小学校再編計画であったが、この当時は平成34年に市場小学校に一斉統合するという方針だった。なぜ野田川地域の小学校が再編されなければならないのかという点については、児童生徒数の減少もあるが、現在こどもたちの学びの質が変わってきたということが挙げられる。学習指導要領が来年度から全面改訂されるが、その主旨としては、覚えるという教育から、共に考え合う教育への転換ということ。つまり、児童生徒が一定数集い、それぞれの見解を述べながら学びを深めていくということ。そうしたことから児童生徒数の減少のみならず、教育の施策という観点からも小学校の再編はしなければならないという結論に至っている。しかし平成24年当初の計画では平成34年に市場小学校に一斉統合ということだったが、時代の変化の中で野田川地域については平成40年を超えないと小学校の再編はできない。これには児童生徒数の減少が予測よりも進んでいないという良い要因もある。そうすると、認定こども園も他地域より10年以上遅れることになる。町内で均衡ある幼児保育を提供しなければならないという町の責務を考えた時に、前倒しても、認定こども園の新築を実施する必要があると判断した。この判断は、子ども子育て会議でも検討いただいた。こういった経過があったことはお承知おきいただきたい。なお、少人数あるいは大人数での保育・幼児教育の在り方に関しては、ご指摘にあった見解ももちろんある一方で、一線を画す意見もある。双方の意見、さまざまな意見をいただきながら、この取組について進めてきた中での結論である。250人という数字は確定ではないが、その規模になったとしても、また各年齢の成長度合いも違う中でも、慎重な保育が必要であるし、子ども達の成長を考えたときに3歳～5歳が特に重要であると言われている中で、多くの友達と共に感性を育み合う環境は絶対に作らなければならないと考えている。小学校再編については教育委員会の方針を町は尊重している。教育委員会での慎重な検討の中では、児童生徒数や学びを考えた時に野田川地域でも小学校再編をする必要があると判断されている。その上で、認定こども園の設置については併せて行っていくことが理想的ではあるものの、小学校の再編が後年度以降になるということが町内の幼児教育・保育の均衡を考えた時に望ましくないということから、先行して進めていく必要があると判断した。</p> <p>② 保育園所からは修繕や周辺環境の整備の要望が届いているのが現状で、この要望には先生</p>
112	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	石川地区	8/20	会場	<p>① 公民館事業でマイクロバスを借りられるが、石川区では区の活動、公民館活動、青少年健全育成会、婦人会・・・さまざまな団体の活発な活動があり、地域の福祉の向上に努めている。公民館活動では町のバスを2回まで借りられるが、他の活動では借りることができない。必要なので貸してほしい。</p> <p>② バスが増えるのであれば有効活用だとも思うし、地域の様々な活動で利用できればと思う。ぜひとも借りられる形がほしい。</p> <p>③ 細かい制約があることはわかるが、地域のために融通を利かせてほしい。</p>	<p>① 役場のマイクロバスは白ナンバーで、すなわち自家用のバス、一方でレンタカー事業者などの事業用は緑ナンバーとなり、道路運送法上でも大きく違いがある。自家用であれば町が使うことが基本で、公民館事業は町からの委託であるので、町が主体となる。実際に、各団体から要望は届いている。現在、マイクロバスの台数や運転手の配置など議論しているところで、同時に加悦地域の小学校再編に係り、スクールバスを4台購入することが議会でも承認された。それも含めて、来年4月までにどういった形が正しいのかということ、要望も聞きながら、検討している。例えば役場のバスを借りるのではなく、レンタカー事業者からレンタルすることが、行政が民業を圧迫しない正しい形とも考えている。</p> <p>② 町としてもさまざまな活動は是非していただきたいと思っている。その際の支援の仕方として、バスを貸す方法では民業圧迫になりかねず、陸運局や府からも注意を受けている。財政の問題もあり、輕輕には言えないが、民間のレンタル事業者を利用いただき、その分を補助した方がよい状態とも考える。どういった支援にすれば活動が維持できるかについては財政当局とも相談していきたい。また、スクールバスはクラブ活動や学校の活動でしか使えず、公民館活動などで活用することはできない。法律上の制約などもあり、理解いただきたい。</p>
113	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	石川地区	8/20	会場	<p>① スクールバスに関連して、購入費には当然補助金があったと思うが、運用経費には交付税措置があると思う。</p> <p>② 3台あれば1,500万円以上入ってくると思う。黒字が出るのではないか。その黒字で先ほどの回答にあった支援ができるのではないか。あるいは、合併特例債で17～8億ほどの基金を造成しているはずだが、その運用益などを活用してそういった資金が捻出できないか。財政当局と相談してほしい。</p>	<p>① 学校づくり準備協議会の通学路安全部会で検討し、スクールバス4台を購入することになった。4台のうち3台がスクールバスとなり、1台はフリーとなる。フリーの1台は先ほどの質問の際に活用できるチャンスがある可能性はある。残り3台は補助金をもらっている関係で学校の教育活動には使えるが、それ以外の活用にはその都度、文科省の許可が必要となる。運用経費については、近隣市町を調査すると、交付税措置で相殺できると考えている。</p>

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
114	つながりで笑顔未来につむぐまち	石川地区	8/20	会場	認定こども園の新設地の選定について4つの視点が挙げられたが、防災の面については今後も起こらないかはわからないし、防犯の面について、面する道路では自動車の速度違反が多くその点も不安。地域の振興という点については町の体育館を3つから2つにするなどの議論をしてからでないと、古いから壊すということには抵抗がある。悪く言えば、認定こども園の新設地を決めてから理屈をつけているようにもとられかねない。町にも柔軟に検討していただき、町が二分されるような行革委員をしていたこともあるが、当時は小学生になればトイレも自分で行けるし、各学年2クラス程度がよいという見解が大勢を占めていた。小学校の統合については、前町長の時代に、京丹後市が先に進めていたことも受け、当町も統合に向け進めることを提案したが、庁舎問題を優先していたことで、現在の問題になっているという事実があるということを発表しておきたい。小学校は山の近くが望ましい。現在の小学校は山際に建て、緑があり、西日も差さない。現在の案が最適地とは思えない。日が当たりすぎ、熱がこもれば、警備などの機械にも影響が出てくるし、エアコン代もかかる。新設地については一旦考え直して、再度町民の議論と合意を得る必要がある。大規模校になれば大規模校のデメリットも出てる。	
115	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	石川地区	8/20	会場	給食センターについて、小学校の統合と関連して、自校給食なども含めた議論があるのか。	庁舎問題について現状を伝えたい。平成27年に勝利的に総合庁舎を町の中心部に作っていきとして、基金条例を策定した。一定の方向性は示されているものと考えている。現段階で庁舎に予算を割くよりも、子ども達の日常過ごす場所への投資を優先していきたい。なお、認定こども園の設置計画については、正確な情報を住民へ届けきっていないので、その点に注力していきたい。
116	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	石川地区	8/20	会場		現在の給食センターが昭和48年建築で約55年経過しており、建物も設備も老朽化がかなり進んでいる。平成29年度には異物混入が相次いだ、これには施設の老朽化もリスクがあったのではと持っている。建て替えの時期がきていることもあり、給食の在り方検討委員会を設置し、学校給食の在り方を検討しているところ。ただし、それぞれの学校で自校給食とすることは、費用面で高額になることと現在の学校衛生基準を満たすにはかなりの面積と設備が必要になることもあり、財政面で難しいと考えている。
117	美しく住みやすい安心安全なまち	男山地区	7/11	会場	① 現在1市2町で建設中のごみ処理施設について、完成した場合、男山地区にある最終処分場に支払われている交付金はどうか？ ② 交付金(金額)は、現状維持になるのか？ ③ 新施設になった場合、料金は上がるのか？	① 現在建設中のごみ処理施設については、現在順調に施工されており、来年の4月1日から1市2町のごみを全量引き受けることとしている。分別後、一部最終処分場に持ち込むこととしており、その間においては、交付金を支払う予定としている。 ② 担当課としては、そういう考えでいる。 ③ 10kgあたり100円の現状維持の状態と考えている。
118	美しく住みやすい安心安全なまち	男山地区	7/11	会場	男山区で要望している事項で、昨年7月の大雨により、ベイホテル奥の土砂が流出し、町道男山線の側溝に堆積している。満杯の状態であり、地域の方々が底上げをしているのを見かけた。要望書は提出したが、もともと勾配のないところであり、自分たちで工夫していただきたいとの回答を受け、まるで自分たちでするように聞こえる。この影響で田に水が入らなくなったところもある。同じケースで、他地区では対応してもらったところもあるようで、男山区は対応していただけないのはおかしいと思う。男山線暗渠出口に勝手に鉄板をしている人もいるが、町の構造物に勝手にふたをしてよいのか？お金がないのは理解している。建設課長に伝えていただきたい。	持ち帰って、担当課と議論し、返事をさせていただきたい。
119	美しく住みやすい安心安全なまち	男山地区	7/11	会場	① 広域ごみ処理組合の事業費について、町報5月号に掲載されており28億円となっていたが、内訳として分担金・負担金が入っているが、その内訳は？ ② 組合予算として37億円となっている。人口割となっているが、今現在の人口割か、当初の人口割か？ ③ 2039年までの契約で、完成が1年遅れのため2040年までとなるが、その間ずっとその国勢調査の数値で人口割として負担していくのか？ ④ 10kgあたり100円の負担では安いのではないか？20年間維持するとして、年間5億円かかるとして、総額110億円もの費用が必要となる。 宮津市も苦しい財政状況であり、伊根町も同様である。こんな金額を抱えて本当にやっていけるのか？お金のない中、ボイラー(焼却炉?)1基でやっていけるのか？メンテ等で運転が止まることも考えられるが、その間もごみを引きとってもらえるのか？ ⑤ 施設に事故が起きた場合の懸念がぬぐいきれない。絶対にならないといえるのか？起きた時の責任問題はどうか？	① 負担金として、19億円計上している。 ② 平成27年実施の国勢調査の人口で負担割合を決めている。 ③ 維持管理費について、最初の2年は人口割を用いて算定しますが、それ以降については、ごみの搬入量の割合で負担割合を決定する。 ④ 施設の運転日数は年間250日～260日で、その間にメンテナンス等行うこととしており、ストックヤードで、何日間分のごみをキープできる。メンテしながら焼却を行うこととしており、責任を持って受け取ってもらえると考えている。 ⑤ 絶対にはないと思うが、安全を期するとともに、安定的なごみ処理に最善を尽くしていきたい。
120	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	男山地区	7/11	会場	まちに赤い看板が立てられている。新聞折り込みでも入っていた。野田川の施設統廃合の見直しを求めることのようなのだが、どのような要望があったのか。どのような見解をもっているのか。	野田川地域の施設の在り方について要望書をいただいている。内容は、野田川こども園の建設予定地を見直すことと野田川体育館の機能を存続させることだった。施設の利用団体と懇談し、また議員等からも意見をいただき再度検証した結果、こども園の建設地として最適な場所だと判断し調整をしている。今後も対話を繰り返し実現に向けて努力をしていく。
121	美しく住みやすい安心安全なまち	男山地区	7/11	会場	蛇谷の水源地の森について、道路整備やしゅんせつ等お世話になっている。これからも追加工事をお願いしたい。	水源地の森の件については、以前からご意見をいただいているところであり、水道課・農林課で対応していることである。ご希望に添えるべく今後も計画的な進捗が図れるよう努力する。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
122	美しく住みやすい安心安全なまち	男山地区	7/11	会場	① 昨年の7月豪雨から1年が経過しようとしている。三田川も大きな被害を受けたが、まだ工事が行われていない。付近の住民からも心配する声が上がっている。府の工事であることは承知しているが、いつになったら直すのか？ ② 被災箇所の近所の方からは心配する声が上がってきている。一言でもよいので声をかけていただきたい。	① 三田川の改修については、京都府が施工するものであるが、昨年の大雨による被災箇所が多いため、回収できていない箇所も多く、他の地域からお叱りを受けているところである。現在の進捗状況としては、約50%程度となっており、施工業者も手一杯の状況である。とはいえ今後の大雨により2次災害の恐れもあるため、京都府に対してもしっかりと対応していただくようお願いする。 ② その件について、本日京都府より契約先が決まった旨の連絡があった。
123	住民が主人公となるまち	男山地区	7/11	会場	町政懇談会について、町から各課長が出席いただいているが、全部の課ではない。せっかくの機会なので、課長がだめなら課員でもよいので全課が出席をしていただきたい。	町政懇談会の在り方については、以前もご意見をいただいたところであり、区長会を通じ相談させていただき、今後議論していきたい。
124	美しく住みやすい安心安全なまち	男山地区	7/11	会場	ソフトボール協会の役員をしており、毎年2回程度傘下チームで岩滝グラウンドの清掃・整備を行っているが、整備前に土が入れていただきたい。また、清掃の際通常では処分できないゴミ(使えなくなったトンボや道具など)が出る。それらが処分できるようにしていただきたい。また、刈った草をごみ袋に入れているが、大量となるためその処分について、何か良い方法はないか？	各団体におかれては、グラウンド整備等お世話になっており、非常に感謝している。今回ご指摘の点は、持ち帰って担当者に伝えることとする。 ※質問者より バリケード等壊れて放置されており、こちらでも片づけたが、まだ残っている。一度現場(岩滝グラウンド)を見に来てほしい。
125	美しく住みやすい安心安全なまち	男山地区	7/11	会場	現在住んでいるところは、宮津市との境であり、裏の山地が宮津市で、前の田が与謝野町となっており、山から多くの土砂が流れ込んでいるため、住宅災害の恐れがある一方で、堆積した土砂が水路に流れ、稲作に支障をきたしている。宮津市と協議いただき、山地の改修がしていただけるようお願いしたい。 また、三田川も土砂が堆積し、ハウスの水を引くのにも支障が出ている。この春に、京都府に要望したが、待ってほしいと言われた。町(農林課)からも願ってほしい。	担当課と協議し、その対応について検討する。
126	美しく住みやすい安心安全なまち	男山地区	7/11	会場	最近、大雨等異常気象が頻繁に起こっている。与謝野町内の雨量計はどこにあるのか？	町の雨量計は設置しておらず、京都府で石川の堂谷橋と加悦の寺田橋に設置されている。雨量計は精密機械であり、計量法のこともあり、保守管理が難しい。昨今の大雨のこともあり、今後こまめに計測できるよう京都府にも要望していきたい。
127	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	男山地区	7/11	会場	阿蘇シーサイドパーク東側の空き地について、草刈りのみ行っており、有効活用ができていない。観光面で何か利用できないか？	阿蘇シーサイドパークの活用について、平成27年に阿蘇ベイエリア活性化マスタープランを策定している。マスタープランに基づく事業の推進を図るべく、住民・利用者団体の協力的体制等について、検討を深めていきたい。 9月1日には、ゴルフ協会主催で空きスペースを活用しプレーをされるとういうことを伺っており、今後も関係者と調整を図りながら活用していきたい。
128	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	岩屋区	8/5	会場	① 旧岩屋小学校は休校となっているが、今後の計画はありますか。 ② 民家と同じで空き家になるといたむのが早いので、早急に何かで活用してもらえるように思います。	① 岩屋小は休校ということなので、学校としては活用できる状態。これが廃校になれば、町有財産活用委員会で活用方法の検討を行っていく。公共活用できうるか、できなければ地域の方に活用いただけないか、民間に売買や譲渡できないかなど、手順としてルールを決めている。今のところは休校なので、正式になれば議論を進めていかなければならない。ほかの学校の事もありますが、地域の皆さんと行政が伴走しながら決めていけたら。現時点で決まっていることはありません。
129	住民が主人公となるまち	岩屋区	8/5	会場	わーくばるで構想日本ディレクター伊藤さんの講演を伺った。伊藤さんが町の行政改革の手腕を振るっておられる中で、無作為抽出型の住民会議を推進されているようだが、町としては無作為抽出型の会議を検討されるのか。	これまでの会議体の作り方としては有識者から選出させていただくことがひとつの行政手法となっているが、無作為抽出型による選出は、参加意思のある人によって会議体を作る方式となっている。住民の民意を受け止めることのできる方策と思っているので、どのような会議体で無作為抽出できるか、伊藤先生の意見を聞きながら進めることができればと思う。
130	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩屋区	8/5	会場	① 昨年の6月、体育館の第1回利用者説明会が行われた時に、副町長は建物を潰すのに半分、交付税参入が10年間だと、たくさんの方がいる中で言っておられたが、この前、補助は全くでないと聞いた。半分解体費が出るのならと思われた方もいる、ただ、1年たってから耳打ちされて。そういう大事なことは理事者側から間違っていたというのが筋だと思います。その点の説明をお願いしたい。 ② 認定こども園を建てる時も補助はないのか。	① 昨年、ちょうど1年前、団体との説明会の中で解体についても起債があると、50%の交付税があったと。公共施設を適正に管理するメニューとしてそういう起債があるとシミュレーションした経過もあるが、条件もあるので必ず充当されるかどうか。国との協議の中で決まるが、起債のメニューも用意されていた。制度は変わるものなので、合わないということになれば、言っていたことは結果的にウソになってしまうが、その時点ではそう発言させてもらった。結果的にそうならば私からお詫びする。今の制度は小池財政課長から説明させてもらう。 説明会での発言は、今ある施設を違う施設に複合化していくということで認定こども園で次の施設が建つことを前提に申されたと理解している。国のメニューとしては、適正化事業債の中で借りることは出来るが、交付税の措置はございません。複合化、集約化については、借入に対して50%の交付税参入があることを申し上げたんじゃないかなと思う。 ② 公立にはない、民間がするものには国からの補助がある。ものによって違うので、一概には言えない。各省庁がもっている制度が当てはまるのかによって変わってくる。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
131	つながりで 笑顔を未来 につむぐま ち	岩屋区	8/5	会場	① 町長がCATVの中でこども園の予定地が防災面でいい場所と申されました。確かに野田川が改修されてから被害はないと思います。しかし、台風18号で岩屋川の越水が確認されているが、ご存知ですか。 ② 岩屋区長からも、たくさん土のうを積んだ、越水したと聞いている。田んぼの水と川の水が同じスピードで流れていた。越水していたのは間違いない。その下流に予定されているが、防災面に本当に大丈夫か。2週間前の利用者への説明が、防災では100%安全な場所はないとのことだが、間違いです。危険なところは避けるべきです。岩屋川は怖い、JAの所で曲がっている、一番怖い場所だ。そういうことも、私たちは経験者ですので、聞く耳をもってほしい。 ③ 100%安全な場所はないと言われるが、こども園はどこなら安全なのか。	① 現場で確認していないが、防災安全課からの情報で確認している。 ② 防災では100%安全な場所はないと申し上げました。防災は地震も含まれる。災害から逃れる100%の場所はいきわめて少ない。災害対応と街づくりはきわめて重要な課題と言える。野田川本線だけでなく岩屋川も危険をはらむということなので、過去の災害の履歴も考えさせていただきたい。 ③ 私は請願者の1人で、3人で町長室でお話した。提案したのは、三河内小の統廃合を早くするのが一番良い、それと町民グラウンドも候補に挙げさせてもらった。
132	魅力ある教育が 活力ある人 や地域を 創るまち	岩屋区	8/5	会場	① 詳しいことは知らないが、個別の議論をされているようだが、一般の方が蚊帳の外で議論をされているような印象。どういう状況で議論されて、議事録が公にされているのかということ、中学生も活用している、そういった将来を多角的に考えることも。こども園を3つ作る結論が決まっているような気がする。なぜこども園を推進するのか詳しい説明がなかったのでは、小学校の統合を平成34年度にまとめようと、けれども人数は多い、思っているほど減らないので、1つに出来ないという、行政の思惑の変更に住民が振り回されている部分もありますので、10年後に子供が中学生になる、そういう世帯の声も含めて。加悦高も名前が変わる、5年後に存続しているのか、市場小も老朽化で後者はボロボロで建て直さなければいけない、そういう総合的な意見が個々ではある、皆が考えられる情報提供が町から部分的に出ているが、町民が知りたいのは、こういう現状があって、可能性を皆さんが考えてくださいよと、いろんな質問を出してくださいと、そういう手順を。行政が先に結論を出している。おかしな手順で進んでいる。早急にこども園を作らなければいけないのであれば、早急に検討をと思うけども、施設は給食センターが老朽化の対応が必要だということできちっと議論する、その中で小学校活用の問題など出てくるので、そういう情報提供をお願いしたい。 ② 非常によくわかったが、認定こども園が野田川に2つという意見はあったのかということ、最終いつまでに結論を出したい意向があるのか。	① 住民の皆様へ、部分的な情報しか提供できていないのではないかと、情報を共有し、議論していく中で、最適な方法を考えていくべきというご指摘だった。認定こども園の設置方針は子供子育て会議を中心とするメンバーで数年前に策定頂き、町の方針として掲げている。この議論の中において結論として町の中に3つのこども園を作るといったものだった。この決定をする中で、住民の皆さんにも意見を聞かなければいけない案件だということで子供子育て会議主催の住民説明会を開催頂きながら、その策定を頂いた認定こども園設置の議論はこういった経過があった、また公共施設の197ある施設を30年間維持するには150億を超える予算の開きが出てくるということも一定の統廃合や統合化をしていかなければいけないという議論がなされました。学校の統廃合もそう、様々な場所で議論されてきたが議論の過程をお示し、公表していく努力がまだまだ必要だろうと、1つの計画案を提示する必要があると考えたことから計画案を皆さんに提案しているところ。野田川、加悦地域で署名活動が展開された、こうした町政懇談会を通じてそういったご意見を伺っているところで、ご意見をもう一度精査させていただくことはプロセスの1つとして重要と思っている。 ② 設置時期の考え方は令和4年中開園、この背景は野田川小学校の再編の時期が平成34年度から生徒数の減少率が低いということもあり、一定数の時間が必要だと教育委員会での議論を頂いた、そうしたことを考えると、小学校の再編を待つ、ということは、野田川地域の設置が遅れるということ、公立の認定こども園については同じ環境を整えてあげたいということから小学校の再編を待たずとも、設置を早めようと判断頂いたということ。判断の際には教育委員会、子供子育て会議などの議論を参考にさせて頂いた。 早急に対応が必要なものがあるのか、については給食センター、これは急げる部分だと思っている。後は、中央公民館。対応年数が10年ほどあるが、本館の老朽化が来ている。体育館の方が早く対応年数が来るが、きれいに使ってもらっているから悪くはない。給食センターの優先順位が高い。
133	美しく住み やすい安心 安全なま ち	岩屋区	8/5	会場	横断歩道の移設はいつできるのか。今年も要望書を出させてもらった。今も左側通行しているのが危ない。それにかからめて免許返納が全国でも高齢ドライバーの危機的状況になっている。線を引くだけだと思うが、なぜ出来ないのか、費用も何千万からかからないと思う。	費用はかからないと思うが、公安委員会の協議がからんでくる。話が進んでいるのか、返事が来ているのか確認してほしい。
134	つながりで 笑顔を未来 につむぐま ち	岩屋区	8/5	会場	認定こども園計画案が29年10月の全員協議会で出され、これは決定かと尋ねたら案ということだった。昨年6月に計画が作られました。その時点でこれでやるんだという話が入ってきてそれでは困るということで署名されたと思っています。町長は皆の意見を聞いて判断するということだったのでいいと思っていたが、そうではなく、決定ということが耳に入ってくる。実際、本当の考えはどうかということのが1点と、署名を出されたことをどのように思っているのか。	署名全般における姿勢については、課題について多くの署名を付されて要望書を頂いた。真摯に協議を進めていく中で合意形成を図っていくのが私の姿勢。野田川地域で署名を頂いた後も複数回にわたって協議を続けている。結論はまだ共有できていないので、引き続き対話を図りたい。本当の腹はどうなのかというところは、先ほどお伝えした通りで、複数の議論を考慮した中で、一定の方向性を出していく、提案していくことは行政にしか出来ないと思っている。議論を一定整理させて頂きながら、柔軟に対応できることは対応したい。まちづくりの原理原則で変更できない所もごまかすので、出来る限りご理解いただけるよう努力したい。
135	地元を誇りに 想い、人の 流れを生む まち	岩屋区	8/5	会場	一番危惧しているのはクアハウス改修の署名の中で町長が再整備をしていくという中で多くの署名があったと仰っている。署名をここに物事を考えるとおかしくなる。署名を重きにして考えていかなないと、8,488通あるが、クアハウスは1/3が町外です。今回は野田川の方で75から80%の方が書いている。これを町がどう思っているか別として、政治の要点は住民の福祉の向上なので、お金の問題ではない。そういう形で政治していかないと、いい街は作れない。どこがいいとか悪いとかという話ではなく、もっと住民目線で行かないと、町長の信頼が損なわれる。	今回の野田川地域の8,400人を超える署名は極めて重く思っている。一方で私に届く言葉というのは、子育て世代を中心として特に若い層から設置を急いでほしい、設置場所について親としては送迎が気になるといふ方があることも事実。皆さんの意見を聞きながら、一緒に答えを見出していきたい。
136	魅力ある教育が 活力ある人 や地域を 創るまち	岩屋区	8/5	会場	野田川について言えば、施設を減らす方向ばかり、これは間違い。一度新しいものを作ってから減らすと。減らすばかりでうまくいく訳がない。こども園を作りたいという声は当然。岩滝に出来たから。本当は岩滝は最後でよかった。3ついっぱいが一歩平等。町長が岩滝だからという感覚になってくる。	与謝野町民のための町政ということを書いてきたので、その思いに一片の曇りもない。手法の部分はそういう考えもあるんだと。改めてありがとうございました。
137	魅力ある教育が 活力ある人 や地域を 創るまち	岩屋区	8/5	会場	請願者の一人で、体育館、中央施設を残してほしい集まりだ。子供35人の指導もしている。にぎやかにやっているし、一般の方も多きときは50名、子供たちの指導、社会体育のためにやっている。そういった大事な施設を潰されて今後指導できるかと言われると出来ない。これだけ苦しんでいるのなら、活動を停止してくださいと言われたが、子供たちの笑顔を消すわけにはいかない。社会体育の場なので、体育館は朝から晩まで年配の方も使っている。大事な体育館を潰されることは納得できない。図書館も利用者が多い。対応年数も10数年あるのに潰してはいけない。町の中心で	真剣に取り組んでいただいていることは十分感じている。こうした思いを計画案に整合させる可能性はないものか、これからも意見交換も含めてお願いしたい。少し出すぎた話になるが、先般江中での議論があった。この施設は江中の部活動でも活用されている。報告を受けている中で、これから街づくりをしていく中で一定我慢する必要があるのでは、どう貢献することが出来るのかというのは、胸に来るものがあった。指導を受けている子の笑顔を決して奪わないでということは、当然考えさせていただきたい、意見を踏まえた形で、出来る限り納得頂ける限り取り組みにしていきたい。引き続き
138	住民が主人 公となるま ち	岩屋区	8/5	会場	岩滝から参加したが、岩滝ファースト感があることは否めない。町政懇談会も野田川地域だけ日程が出ていなかった。耳にしたのは、野田川でいざこざがあるのでうやむやにするのでは、クアハウスも改修になったが野田川、加悦からは遠い。	町政運営は全体に配慮したものであるべき。根拠なしに批判されるのはいかにがなめのかと思う。合併後大切にしてきたのは一体感の醸成。損ねることなく町政運営をしていくことが求められている。こども園については、引き続き議論したい。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
139	つながりで笑顔未来につむぐまち	岩屋区	8/5	会場	<p>① 子どもたちのためにこども園を作ることが未来のために大切。中学生が言っている我慢していくことは必要と思う。大切な活動拠点の今後はどう考えているのか、岩屋小も早く廃校にしたら使えるのかな、図書館はたびたび使っていてとても大事だし、食生活改善委員もしていて、荷物をどこかに持っていかなければいけないのか、どうしようもなく途方に暮れている。どのようにお考えか。</p> <p>② それは個々にお答えになるということ？</p> <p>③ お互いが我慢するという辺りで考えたら、トータルに使用する時間帯など皆が分かりあうことが大事。中央公民館の講座の手伝いについてきて、4つの小学校から9名の子が参加していて、わくばるをお借りしたが狭すぎる。30分2コマ勉強して、30分休憩して、また勉強するが、6年生が3人程1部屋に集まるのは狭すぎる。半分くらいならちょうどいいくらいのスペースで、部屋が足りないか。</p>	<p>① 中央公民館については、横にわくばるがあり、そちらが代替施設にならないかなと検討している。プラス町内の地区公民館を使っていたら、地域振興していただけたらと考えている。利用団体と個別の懇談をさせて頂けたらと考えている。</p> <p>② 基本的にはそうなると思う。ほかのアイデアがあれば教えてほしい。</p> <p>③ 多くの方と相談出来たら。中央公民館と体育館の利用者と併せると40数団体ある。それらの方を公民館、体育館と分けて相談させていただくこともいいと思うし、個々の活動も聞きながらどこがいいのか相談する必要がある。</p>
140	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩屋区	8/5	会場	<p>① KYTの「ようこそ町長室へ」で話しておられた野田川こども園について、4つのキーワードに分けて話された中の2点をお聞きしたい。一つはこども園、私は反対ではないが、なぜ今活用されている場所をあえて潰してしまうのか。TVでは公共施設の役割を終えたものは廃止ということだが、役割を終えた施設として判断しているのか。</p> <p>② 役割を終えた施設なら廃止するのが常識的な考え方と思う、今のままでは廃墟になるといっておられたが、責任者として発せられているのか。やはり廃墟にならないように。誰もすべて直してほしいとは思っていない、不必要なものは廃棄したらいい、そうでないものは補修をして長く使うという考えをなぜ持てないのか。私たちが提案した織物訓練センターを加悦染色センターに統合した場所でもかまわない。加悦こども園でも進入路に2億の予算化がされるなど他地区にはそれだけの計画をしていながら野田川にはそういう目が届かないのかと思う。野田川地区の者にしては残念なことをやっておられるので理解できない。どのように町民に説明されるのか。</p>	<p>① 役割を終えた施設には、先ほどの施設は入っていない。町内197施設の中で極めて利用が低い施設がある、そういった施設を一定の役割を終えたという表現を使った。</p> <p>② 番組の中で申し上げたのは公共施設の維持管理の難しさ、すべて継続すると150億を超える財源不足が生じる、住民全体の福祉の低下につながる、そう考えると、役割を終えたものは複合化、統合をしていかなるを得ないと申し上げた。体育館にしても、町内に複数ありますので、ご理解いただいて、そうした施設を活用できないだろうか、あの一帯の中心エリアが廃墟にならないように新たな観点で街づくりを行えないか、1つの回答として子供が集まる場所を設置できないかということを上げた。理解できないということですけど、うちとしてはそういう思いを持っている。この計画自体周知できていない。皆様からご意見を頂く環境を作れてないということもありますので、ご意見を聞きながら前進していきたい。</p>
141	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	岩屋区	8/5	会場	<p>① 当初予算が3月定例会で否決されて再議された。専決でも出来るわけだがなぜ再議されたのか理由を知りたい。</p> <p>② 議会の方からお願いがあったと聞いたが。</p> <p>③ もう一点おかしいと思うことが、当初予算でシルクプロジェクトに300万、3月の最初に提案説明で上程された。3月18日にそれを引き受ける商工会と懇談会を持っている。議会が判断しないからこうなったのだが、その席に担当課長が来ていたと聞いている。本来議会で説明するのは担当課長、議決前にシルクプロジェクトの委員長と懇談することは行政としておかしいと思うが。</p> <p>④ 勉強会をするタイミングが悪い、一歩間違えたら談合だ。委員長は、おかげさまで予算を通してもらえたとのこと。担当課長と議長がその場にいたから相手はそういう判断になっている。十分わかってやったということになる。</p>	<p>① 3月定例会でそのような事があったが町としては4月1日から影響がでないようにと議会に相談した結果、ああいったことになった。専決という手もありますが、乱発はできない。法律的にも難しい部分もあったのかもしれないが上部組織に伺いを立て、議会にも判断を頂いた。</p> <p>② そこは承知していない。</p> <p>③ 確かに微妙なところ、お互い理解しあっていた方がいいのがベストなので、そういった機会を設けさせていたのだが、そういう風に見えるのはまずい側面もありますので、疑念の念を盛られることは問題があるので気を付けていく部分であると思う。</p> <p>④ 是正していくところは是正していくべきと思う。</p>
142	つながりで笑顔未来につむぐまち	岩屋区	8/5	会場	<p>① 先ほど令和4年に開園すると仰いました、もう一方では精査すると、4年ありきということか、精査して、4年が5年になるのか、その辺の言い方はどうなのか。</p> <p>② 定員が加悦150、岩滝160と、なぜ野田川地域全員240人集めないといけないのか疑問。石川も山田もあるのに。特に小さな子供は大問題。小分けした方が子供のためにも思う。町民の意見を聞いて精査すると、令和4年ということでお考え直してもらえと思う。</p> <p>③ 一つはまだ石川も山田も使えるということ、小さい子供ということで預ける、預かる方も目の届くところということが必要。将来的に少なくなれば考える問題であって、今は施設もあって子供もいるわけですから、保育士の目の届くところで教育をしてもらったら、その方が理想的と思う。</p> <p>④ いろんな専門家の意見を考慮されたということ、それに基づいて提案していますとお話がありますが、分からないんです。専門家がたくさんの議論をされた、それを簡単に資料でメリットとデメリットをまず町民に。そこをベースで揃えたうえでいろんな意見が出ますけど、議論を進めないと、聞いてないというのが必ずある。説明会はあくまで町の一方通行、皆のベースを揃える準備をされたら、町長の説明より教育部署の課長がこういう議論があってここを強調されたという現場の声を聞いたら、それが現場なのかと、現場の思いと孫を思うお爺さんの思いが署名の中にあればそこは議論しません、理解しましたと、意見を戦わず場所をきちっと設けていければ、意見が建設的に出てくるんです、そういう町民の意見をすくい上げて皆さんと議論しましょうと、まず半年の中でして頂けたら、それなりの方向性は。先ほど言われた中学生に我慢はかわいそうです。なぜ大人が我慢せずに子供が我慢するのか、おかしい。大人は我慢する土壌もあるので、まずそれを整えて頂きたい。</p> <p>⑤ 私は認定こども園賛成で、子供が伊丹と大阪にいるが、子供が学童保育でも200人いて、そういう中で育った子は生き生きして元気がいい、岩屋の子はおとなしい、大勢の中で育った子はいじめもあるが今子供を預けることは皆共稼ぎ。共稼ぎも時間帯が大勢の中で労わって遅くまで見てく</p>	<p>① 子供子育て会議によって策定された指針によってH31年度内、町内3ヶ所でこども園をスタートさせると提言を頂きながらも出来ていないのは行政の怠慢の1つと思っている、事業のスケジュール感を組むわけですけどH34年度開園していきたいということ、目標は目標で持ちますがいろんな要素があります、住民理解が浸透していないということであれば、タイミングをずらすことも考えなければならぬ。</p> <p>② 逆に意見を頂きたい。私はそれぞれにこども園の整備をしていくことが子供たちの環境の整備という観点から重要ではないか、その考えが誤っている理由を聞きたい。</p> <p>③ 就学全保育のあり方については私としても1人の親としての考えはありますが、その考えで進めていくことは極めて危険な事と思う、子供子育て会議の専門家の方々が入られて保育教育の在り方をどう考えていくのか多くの議論の中で出されてきた意見を尊重させて頂いている。</p> <p>④⑤ おっしゃられた住民の方と話していくベース、その土壌を作る必要があると、これについては引き続き努力しながら議論していただける環境を起こしていけないと思っておりますし、体験をベースにしての意見ありがとうございました。</p>
143	美しく住みやすい安心安全なまち	岩屋区	8/5	会場	<p>岩屋が変わっていかないのは道路、道路が出来ると峠でも最先端の感覚。道路が出来ると仕事もできるしお金も落ちていく。今後の事を考えると欠かせない、防災、防犯もよくなる。昔は堂谷も田舎だったが、最先端を行っている、豊かになるのはこども園の問題もそうだが、根本的な問題を解決しない限り移住もそうすけど、最終的に便利なところに家が建つし、いろんな問題はあと思うが、必死になって考えてもらいたい。</p>	<p>岩屋峠の現在の状況ですが、兵庫県側の代表の方々、与謝野町側も地元区長さんなどにお世話になっているが、協議会を立ち上げて毎年、府、国へ要望活動をしている。そういった成果、皆さんのお気持ちもようやく意見が通るようになってきて、今年2億円の予算がついている。岩屋峠の部分について昨年着工したところから上が1工区、兵庫県側の1工区の約半分が終わる勢いになっている。そうした中で1日も早く全線改良されることを願っている。出来ることはさせて頂いていると</p>

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
144	美しく住みやすい安心安全なまち	市場地区	8/6	会場	<p>① 去年の四辻の町政懇談会で幾地のまごろく橋の件について、建設課長が来られてなかったので代わりに企画財政課の小池課長に伝えて、その回答について後日事務所に返答していただくことになっていたが何の返答もなかった。録音内容を懇談会を欠席した課長等に聞いてもらうなどはしていないのか？</p> <p>② その後、建設課長へも直接聞いたが、話は聞いていないと答えられた。区にも直接聞いたが、区長も返答はきていないということだった。この録音内容を聞いていないのではないかと不信感を抱いている。</p> <p>③ その時の話はこっち側である程度幾地区長、四辻区長に相談しながら良い方向に進んでいると思うが、その時との話とは全然違うので、その時の時点で返答をどう思っているのか聞きたかった。1年も経つと変わってくる。ちゃんと区なら区に返答してもらわないと話が繋がらない。</p>	<p>① 昨年まごろく橋の件で質問いただいて、建設課長が出席していなかったので私から建設課長へご意見を伝えさせていただいたことと発言させていただき、後日建設課長には伝えさせていただいた。おそらく区などに何らかの打ち合わせをさせてもらっていると思っている。その件については、その後も話は続いていると思う。</p> <p>② 申し訳ない。小池課長が申したように今の件に関しては、おそらく次の日に建設課長にはこういう話があったと伝えられていると思う。録音している関係は、文字に起こして各課長には全部目を通すことになっており、欠席している課長も自身の担当については精査することはある。問い合わせいただいた事業のことについては、1年間の間に京都府も含めて対応策を協議していると思っている。</p> <p>③ おっしゃる意味はわかる。我々も気をつけなければいけないことであり、重要な事であるのでしっかりとあったことを伝える事は肝に銘じて対応させていただきたいと思う。事業については京都府との絡みもあるので建設課が話を続けてくれると思う。</p>
145	美しく住みやすい安心安全なまち	市場地区	8/6	会場	<p>野田川地域の認定こども園について、私は体育館のところに設置するのは反対。場所的に与謝野町のハザードマップを見ても、あの場所は浸水する地域になっているし、年々雨量も増えていっている。福知山の水害であってもこんなところまでこないであろうところまで水がきている状態。そう考えると、おそらく体育館のところに水が来るのが想定される。もし水がきたときに、第一に子どもの命がある。早めに避難などの方法もあるが、石川の方からは水が浸かっているので来れない。そうすると四辻から迎えに行かないといけないのでそこで交通渋滞が起こる。そういう理由から、場所的には計画から外すべきだと思う。もし水害が合って、もし子どもが危険にさらされれば人災だと思う。その時は責任をどうとられるのか。</p>	<p>水害の想定は私たちとしても考慮していくべきと考えている。平成16年の台風23号の水害の想定地の場合だと当該計画地についてもそこまでの大問題にはならない。昨今の日本各地、近隣では福知山市の降雨の状況を鑑みたときに、その前提で話を進めていってよいものかについては議論していく必要がある。したがって、新たな視点における浸水想定に対応しうる取り組みを考えないといけない時期にさしかかっている。仮に当該計画地に施設を立地した場合にどのような対応がしうるのか、防災減災に対する取り組みだと思うが、かさ上げや避難経路の設定などさまざまな考えうると思う。安全対策をハード、ソフト両面兼ね備えたいかたちで子どもたちの命を守っていきたく考えている。なお、そうした場合においても子どもたちの命を危険にさらすことがあった場合は責任は当然負ってまいります。</p>
146	美しく住みやすい安心安全なまち	市場地区	8/6	会場	<p>① 昨日の岩屋の町政懇談会でも聞いたが、昨年6月の野田川体育館利用者などを集めた説明会で、あの計画地一帯を全部取り壊したら国からの補助が50%でると、ただし交付税算定で10年間かかるという話だったが、最新の情報では1円もでないという行政側から聞いた。そのいきさつを副町長から伺いたい。</p> <p>② だいたいの方が誤解していると思う。間違った情報だったと思うので、こういう場を利用して訂正していただきたいと思う。また、同じ質問になるが、昨年の台風18号で岩屋の旧歴史館のところが越水をおこしている。大変な状況だったその下流に認定こども園を建設したいという根拠が理解できない。危険な場所だと思う、100年に1度の危機を想定しての対応はできないという行政側の説明があった。ただ、去年起きて最近の事がまた起きないことは考えられないし、ましてやゲリラ豪雨とかそういった危機管理能力が欠如しているのではないかと思います。子どもたちの命は守っていかないとはいけませんが、安心安全を担保していかねばならないのは行政の責任でもあると思うので、その点を考慮しなければ天災ではなく人災になるともう。そのあたりを考慮していただきたい。</p>	<p>① 昨日もお答えさせていただいたが、昨年6月に説明会をさせていただいたときに、計画では候補地の体育館などの施設を削除して、認定こども園を建設させていただいた折に、当然新たな施設を建てるときには補助金はないが有利な借金、いわゆる起債、国から借金をしてその3割とか8割とかの交付税が返ってくることはあるが、その時にお話したのは削除に対しても2分の1の後年度で交付税の補填があると話した。これはその時点で公共施設の適正管理事業債があったのでシミュレーションではその起債を活用していくという事実があった。ただこれは前提として、今ある施設を削除してそこに新たな施設を集約化する、ただ壊すだけではいけない内容の。壊すだけでは対象にはならないことが最近でございました。その当時はその施設を削除して新たな認定こども園を、どんなかたちになるかわからないが建てていく前提として、施設を壊す場合にもこういった有利な借金ができると説明させていただいた。そういうことから、ただ壊すだけではそういったことにはならないということでご理解いただければと思う。説明不足もあったかもしれないが、わかりにくい説明であったかもしれないので、誤解を与えるようなことがあったらお詫びしたい。</p> <p>② 岩屋川の状況をしっかりと考慮していくべきという提案だと思う。野田川、岩屋川、その他の支川も考慮しながら浸水の状況を予測していかなければならない状況になっているので、その点については関係機関と連携しながら数理解析などをしていかなければならないと思う。一方で、災害時に対応するという事も大事だが、平常時における子どもたちの安全安心を考える事も重要。それを考慮すると交通状況が極めてよい場所にもなるので、その観点でも優位性があると思っている。</p>
147	美しく住みやすい安心安全なまち	市場地区	8/6	会場	<p>① 認定こども園の設置場所について、過去50年ほど水害がないから選んだという町長の説明があったが、安易な判断だと思った。岩屋川の回収については、地域住民に京都府から100年に1度の大雨洪水が起こっても大丈夫だという設定を見せられてその当時は納得したつもりであるが、今岩屋川の浸水をしてもらっていると思うが、ちょっとした雨により土砂がたまり水かさが増して上がることが目の当たりにしている。青田橋の岩屋川が90度に近いカーブで岩屋川と合流に向かっている。一番危険な低い場所に認定こども園を設置する事は再考した方がいいと、仮に大きな決壊が起きた場合はこども園の屋根まで浸水すると思う。町長のお考えを聞きたい。</p> <p>② 町長の答弁では納得がいかないもので、危険な場所である事を頭に置きながら対応をお願いし、旧町時代の住民にとっては野田川地域の公共施設の廃止は大問題であり、一方的に計画をたてて説得しようとする姿勢がありありと見える。住民の心が町の発展には一番大事。今まで説明を聞いていると、町の施策を強引に進めようとしているように聞こえる。今日まで身の丈にあった整備がなされ、与謝野町がここまで発展してきたことをまず念頭に置いて考えてもらいたい。今回の計画は、必然的に地域のバランスを欠くことになる。今後の調整にも影響を与えると思う。精神的にも住民の心に傷をつけることは明確。少しでも行政に関わってきた私には心配に思うことである。この計画の進め方は私は納得できない。大きな心の問題をかかえていることを意識しながら、町民目線で今後の対応をこまめに検討したい。</p>	<p>① 近年の災害発生状況を鑑みたときに、これまでのデータをもとにした浸水想定対応は時代遅れになってきたことは指摘の通り。しかし、災害想定地をどのように設定していくのかは専門的な知見もいただきながら考えていく必要がある。つまり、そうしていなければ、町全域で公共施設の設置が不可能になってしまうので、しっかりとした災害想定地、水害に対する減災対応策を考えていく必要があり、取り組みを進めていきたい。</p>
148	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	市場地区	8/6	会場	<p>与謝野町の一体感の情勢がまちづくりの基盤になっていくというお話はそのとおりと認識している。公共施設が立地して、それを使用している住民の方がいるなかで、そうした施設を廃止していく、あるいは統合していくことは住民の深い理解をいただかないと大きな禍根を残していくものだと思う。そうした状況を改善していくためにも一定まとめてきた案を責任をもって説明させていただき、それに対してさまざまな意見をいただいているという状況であるため、その意見を加味しながらどう整理していか考えていきたい。今おっしゃられたことは本当にそのとおり大切なことだと改めて感じたところである。</p>	<p>与謝野町の一体感の情勢がまちづくりの基盤になっていくというお話はそのとおりと認識している。公共施設が立地して、それを使用している住民の方がいるなかで、そうした施設を廃止していく、あるいは統合していくことは住民の深い理解をいただかないと大きな禍根を残していくものだと思う。そうした状況を改善していくためにも一定まとめてきた案を責任をもって説明させていただき、それに対してさまざまな意見をいただいているという状況であるため、その意見を加味しながらどう整理していか考えていきたい。今おっしゃられたことは本当にそのとおり大切なことだと改めて感じたところである。</p>

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
149	住民が主人公となるまち	市場地区	8/6	会場	明るく楽しく和やかに住んでよかった幾地ということ、幾時の努力目標としてずっと掲げている。心、そういった気持ちをひとつにして幾地を盛り上げていこうということであるが、与謝野町もかくあるべきだと思う。失礼な言い方になるが、町長の施策、特にブランド戦略などを町民がどのように見ているかという、10年後にはみんな失敗しているんだろうなというのが大概の見方だと思う。それは心が入っていないから。ビールを作って本当に心が入るのか。不安を埋めて心が入るのか。桑を作り、絹を作ることは非常に高等なこと。一方、野田川地域の社会教育施設の統廃合の原案に関して8,400人の心が集結している。この心は無視できないと思う。そういう面で、認定こども園は必要な事業であり重要性は否定するわけではない。現在の案を差し戻しもう一度検討されることを要求	現在町政を進めている事業について心が入っていないという厳しいご指摘をいただいたが、例えばホップの生産を行っている人たちがどのような思いでされているのかそれを目のあたりこしてきた私にとっては、そうした心が入っていない施策ではないと思っている。ところが一方で、住民の皆さんに理解を求めていかなければならないという姿勢については、これまで以上に必要なことと認識したので、できる限り多くの方にその思いを共有できるように努力していきたい。
150	住民が主人公となるまち	市場地区	8/6	会場	体育館の利用者の一人として、数回、町から説明を聞いた。その際、大変おもしろくないことがあった。計画を作る以前に「こういう風に町は考えているがみなさんはどうでしょうか」と町民の声を聞いて欲しかった。それがなぜできないのかと、説明会のときに聞いたら、ある課長は、そんなことをしていたら何も決まらない、と言われた。計画を町が作った後で、それを町民に数回にわたって説明する、その姿勢はわかる。しかし、決まったものはこれ以上変えられないという内容しかとれない。そこが皆さんが発言されているような言葉につながっているのだと思う。	このようないろんな会議を行っている中で、発言について不快を与えたことについてはお詫びをしないとイケないと思う。ただ、会議の趣旨は、どうしようということではなくて、ある程度町が方向性、計画をたてて、それを住民に説明していく姿勢は重要なんだろうと思う。ただそれは進め方について、今回皆さんから意見をいただいていることについては真摯に受け止めなければならないと思っている。ただ、町長も申し上げたが、皆さんの意見を無視して推し進めていくべきではないと私も思っているので、どのタイミングになるかわかからないが、一定皆さんの意見を聞いた中で判断をしていくことになると思う。先ほどからも申し上げているが、いろんな自然災害のこともあつし、それらを加味した中で決断することになる。いろんな批判を受けているので、今後の進め方に活かし
151	つながりで笑顔未来につむぐまち	市場地区	8/6	会場	施設統廃合の案を聞いたときは、行財政改革の一環で公共施設がたくさんあってこれを維持するのは大変だから野田川の該当地域の公共施設を解体して新たなものをつくらうと、財政面から白羽の矢が当たったと、行財政改革委員会でもそうであったとことで注意をしていたが、先日KYTで、町長がなぜそこにこども園を建てるとのことについて本日と同じように4つの理由を説明されていた。まず防犯的に町の視線が集まっていみんなから守られているから良いのだと。次に防災の面、長年水害がないから安全な場所だと。次は交通環境の面で送迎や駐車場の環境が整っていると。最後に地域振興の面、このまま施設を残すと今の施設は廃墟になる可能性もあると、だから新たなインフラ整備をして地域振興の拠点にすると説明された。また、157の公共施設があって、それを維持するには150億円の費用を要するとあったが、実際に今後157すべてを残していくのか。維持しようと思うと150億円足りない、さらに今後人口減が進んでいって国や府の財源が乏しくなるなかで、今までのように安易に起債を起こせない。日本全体で、おそらく今後30年40年後になるとだいたい現状見積もったものの約1.4倍は費用を要するといわれている中で、今の150億円といったものも決めうちにして、町民を納得させようとしているだけで、私にとっては150億円という数字はまったくあてにならない。 それからもう一つは、町長がKYTの中で、町民にみなさんや議会からの声で、旧野田川川舎付近、野田川町民グラウンド、統廃合後の小学校の跡地、野田川わーくばる周辺を検証してきた結果、原案が一番いいといわれた。それらの土地を本当に検証されたのであれば、他の候補地は水害が怖い面から見れば全くそんな色ないむしろ有利な点もたくさんあると思う。わーくばる周辺は交通も非常によいといわれているが、毎年行っている商工会青年部のフェスティバルのときは人が集まると大変である。あそこは行き来ができない。石川が氾濫すれば孤立する。そういうことを考えると本当にすべての場所を検証したとは考えられない。もっといいところがあったと答えが出ると思う。町長が決裁するまでの過程で横着がされていないか、もっと検証する時間があったのではないかとと思う。 さらにもう一つ、ある職員からそこまで文句をいわれるならば自分たちで考えろという意見も聞いている。議員からも聞いている。これは暴言だと思う。それが皆さんの仕事。皆さんの良識ある判断で、今後もう一度熟考され、利用者に対話され、もう少し心ある対応をこころから願っている。お互いに批判しあうことはやめたい。お互いに知恵を出し合っていきたい。事故は30年後からもしれな	おっしゃられていることはわれわれも身にしみている。そのあたりも含めて、今は思いをお互いに話して、最後には町長が結論するかたちになるが、結論までの過程で職員は手をぬくことはなくて、そこは私から申し上げたいと思う。ご意見はご意見として受け止めさせていただきたいと思う。
152	つながりで笑顔未来につむぐまち	市場地区	8/6	会場	町長にお願いになるが、このような公共施設の統廃合など大きな問題を検討されるなかで、ひとつの柱と思うのが庁舎問題だと思う。3町が合併してまず庁舎をどうするかをずっと議論してきたが、これをどうするのか、これは先ほど町長がいわれた行財政改革にも関わることだと思うが、町民がわかりやすい町全体のグランドデザインを掲げないと、こんな広い与謝野町なのに、なぜ野田川地域社会・教育施設の再編計画の計画地がそこなのかということになると思う。 もう一つは、3つの町に同じものを公平に一つずつというところが一体感の醸成かもしれないが、これからの厳しい財政を考えると、必ずしもその発想ではなく、例えば桑飼小跡が新たな認定こども園の適地とするならば、わーくばる周辺も、桑飼小から距離的にには変わらないので、そちらに全部行ってもなんら不思議でもない。反対にわーくばる周辺がよいならば、桑飼小後に建設することも園をそちらにもってきてもよいと思う。同じものを一つずつという発想はこれからはしたくてもなくなる可能性があると思うので、そのあたりも考慮して考えていただきたいと思う。	町全体のグランドデザインについては、合併時に新町まちづくり計画を策定いただいている。その中では土地利用についても触れられており、そうした計画を継承しながら現在があるということである。おっしゃられたのは、そうした経過を基盤にしながらも現在の課題や問題点を検証しながらより緻密なものに書き上げていくものと受け止めさせていただいた。それらについては庁舎内でもより深い検討が必要ではないかと議論しているの、ご指摘の一つとして受け止めさせていただく。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
153	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	市場地区	8/6	会場	① 体育館、図書館、公民館などの施設をいっぺん取り壊して、そこに新たに認定こども園を建てられるということだが、これは無料でできるのか。やはり、膨大な予算税金がこれに使われると思っている。取り壊し、建設は国が全て持ってもらえるのか。町が借金をして建設しなければならない、そうでなければ施設はできないと思っている。宮津市はハコモノばかり建てられて維持でない状態で大変なことになっている。財政の硬直化がもたらした状態。税金を使って、取り壊して新たに認定こども園を建てられる、果たしてそれがこれから先の町民の幸せになる税金の使い方なのか疑問である。少しの費用で最大の効果があげられるような施策をなせてないのか。わざわざ水害などが問題になっているところに、税金をかけて新設されるのか納得いかない。小学校が統廃合されるが、そこを見ても、三河内の小学校は丘の上に立っており、体育館、校舎は耐震も整っている。現在、三河内小学校のすべての校舎を使っているのか。うまく使いまわして、認定こども園に分けて使うような使い分け、弾力のある予算の使い方は大事だと思う。財政の硬直化は宮津市はトップ、2番目に与謝野町も入っている。この時代に、町長が考えていることは実現できるのか。財政面でも納得いくような施策をお願いしたい。	① 貴重なご意見をいただいたと思っている。公共施設の総合管理計画を立ててきた思いとしては、まさに今おっしゃられたことをしていくための計画作り。日本全国一緒だが、過去に昭和30年代、40年代に建てた公共施設を、今から人口減、財源が少なくなった上で、再投資ができないと、特に町のような自主財源が弱い自治体で今後再投資していくことが非常に無理がある、または単独の自治体でいまちとは違い、3つのまちが一緒になったと謝野町では、旧町単位で同じような施設があると、それらを今後再投資していくことは不可能である、という観点から公共施設の総合管理計画を立てている。おっしゃられたように例えば三河内小をうまく使っていくなど、今後は公共施設をどういうふうに使っていくかという観点から考えると非常に大事な視点と考えている。今は中央施設が老朽化していなかでも当然それらに再投資していくことが非常に困難なことがあって、このような計画をださせていたでいるわけであり、いろんな意見をいただくなかでは、防災の面などを深く考える必要があるが、財政面を考えればこそ再投資できないというものの考え方をしていることだけは認識いただきたいと思います。
154	つながりで笑顔未来につむぐまち	市場地区	8/6	会場	旧町単位でこども園を一つずつという考え方を外しても良いと思う。適正な規模であれば旧町単位で一つということにこだわらなくても良いと思う。与謝野町全体で考えるのも一つの方法かと思う。	② 今ある施設を有効に使うって欲しいというご意見ですね。
155	住民が主人公となるまち	市場地区	8/6	会場	財政見直しについて、行政サービスを維持すると毎年度収支不足が見込まれる。その不足額を財政調整基金で補填すると令和8年度にはすべての基金が枯渇するがその場合の考えは。	② 規制的なことも、一つの大きな園ということも大変。とはいへ、町の状況から言うと、野田川が一番大人数の施設になると思うが、岩滝も加悦も定員は180で今でもそのくらいの子どものお預かりしているわけで、これを町内で2つの施設になると、1園が300人を越える施設になる。そのあたりもそれぞれ担当課のほうは加味しながら、そういったことも考えながら3つの認定こども園を新築していくという、この判断については子ども子育て会議の答申でもあるので、それを我々ではできるだけ現実になるように議論していきたい。おっしゃられていることはわかるが、そのあたりは配慮しながら
156	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	市場地区	8/6	会場	① 教育長に聞く。子どもは夏休みになってなかなかプールに入れないことが多いようで、子どもに聞くとも夏休みになってからこれまでプールに入れたのは2回。雨が降ったら中止、気温が35度を超えたら中止、泳ぎたいのに泳げない。教育長としてどういう考えで指示をしているのか。教育委員会の指導ではないのか。 ② PTAに関しては当番制だと思うが、中止の場合は先生が使用を断るようである。 ③ 当番が水をまいたり、対策をとってくれたら子どもも喜ぶと思う。子どもたちはプールに行きたい。大変残念がっている。	② 予算ベースでの見直しとなる。当初予算の段階で基金を繰り入れて収支をたてているので、基金が枯渇する計算となる。これまで実際の決算では基金から繰り入れすることはなく、基金に積み増しできていたが、平成29年度と平成30年度は災害や除雪費などがかさみ、基金を取り崩す結果となった。財政調整基金が枯渇してしまうと自治の崩壊に繋がるので、決してそうならないよう行政経営マネジメントの新たな取り組みを行いながら、持続可能な財政運営を行いたいと考えている。
157	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	市場地区	8/6	会場	① 中央公民館、体育館の件だが、無くなることについてどう思うかなど江陽中学校の生徒にアンケートをとられたのか。 ② その結果を町長も聞いているか。その結果は今教えてもらえるのか。 ③ それは生徒が自主的に行ったものか	① 私たちが子どものころはプールはなかったが、川で水浴びをしていたのが現状であり、一番感じているのは夕立がこないのは感じている。気候が変わってきていると感じている。35度を越えると、プールサイドの部分が焼きついて裸足で歩くこともできないので、プールの使用を中止している。プールの水も相当温い。安全安心第一を原則としてのご理解いただきたい。教育委員会から助言はするが判断は学校・PTAが行う。特に夏休みのプールはPTA主導で行っているのが現状。 ② PTAに最終判断は無理なので、学校側で助言をするが、気温が高いと熱中症も含めてリスクがあるので学校側からPTAに対して助言するというふうになっている。 ③ 気持ちはわかるが、やはり安全安心が第一であり、責任をとらなければならないとなると課題がでてくるのでご理解いただきたいと思う。
158	つながりで笑顔未来につむぐまち	市場地区	8/6	会場	① 野田川地域の町政懇談会の各会場に足を運んで参画させていただいているが、どの会場でも認定こども園の場所について、理解があるという意見はなかったように思っている。これだけの野田川地区の方にとっては大きな問題であるために、町長をはじめ副町長や教育長、各課長には重々町民の声が届いて、これでは難しいのではないかと気持ちになってくれていると信じているが、もう一度再検討するという言葉はいただけないか。町長いかがか。 ② 様々な審議会などを経た上での町の提案だと思うが、29日の理事者を含め8名の方々とお話ししたときも申し上げたが、それは行政側からの見栄なだけであって、各審議会でも提案された意見であっても原案である。住民あつての行政ではないのか。住民の声が大きいほうに進路が進むべきと思う。こども園を作ることにあつての反対はないと思う。ただ場所があそこがいいのかということ、役割を終えていない施設をどうして取り壊してまで認定こども園をあそこに建てなければならないのか、ということが一人ひとりの心に届かないと断言できている。各審議会でも検討されたことは考慮しながらも、もう1歩引いた立場で再検討していただくという広い心で行政運営にあつ	① 現計画案について白紙をしたらうで、計画を進めていくべきとお話をいただいたが、この間、再編計画をまとめていくなかで様々な委員会や住民の声も承った上での再編計画案の策定であった。これらの議論をすべて白紙に戻すことはできかねる。しかし、現再編計画案をベースにしてさまざまな会議を進展させていくことは可能だと思っている。 ② 先ほども申し上げたとおり、様々な議論を統合させたらうで再編計画をまとめて提案している。再編計画案については住民に周知できないと思う。町政懇談会や施設の利用者への説明会ではご意見をいただいているが、より広範囲にわたる住民からご意見をいただける工夫も必要だと思う。この取り組みが真に必要な取り組みなのか、さらにはよりよい取り組みの方法について妙案が考えうるのかについては門戸を広げて議論していきたい。

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
159	住民が主人公となるまち	市場地区	8/6	会場	<p>① 議会の総務常任委員会で、京丹後市の統廃合のことで視察されたと報告があった。京丹後市では160回の地元とのやり取りの中で小学校の統廃合が目の目をみることになったと議会で聞いたが、そこまでのやりとりをやられるだけの腹があるのか確認したい。</p> <p>② 野田川わくばるのように、あれだけ広い駐車場を備えた施設は近隣にない、その場所の有効活用をこども園だけのことにしてよいのか。高齢者会、人口減少が進む中でこの地域でがんばっている社会を担っている方たちのコミュニティーの中心的な場所。そこをどう活かしていくかを根本的に考えていただきたい。</p>	<p>① 京丹後市における小学校の再編については、行政と住民との協議が度重なっていったと思っている。それを考えると本町の小学校の再編についても一定の議論が必要と思っている。この再編計画の取り組みについてはまだまだ一般的な住民に対してつぶさにお知らせできている状態ではなく、声をあげきれない、声を伺っていない層もあると思うので、その方たちへの周知も含めて考えていきたいと思う。今一度意見交換を含めて考えていきたい。</p> <p>② 話のなかで重要だなと思うし考えたいと思うことがある。それは、まさに今ここに住んでいる私たちの福祉、そして今これから生まれてくようとしている子どもたちの福祉の両立をどのようにはかっていくのか、きわめて考えていかなければならない課題だと思う。当然、高齢化社会の中で高齢者層への福祉も充実させていくことは必要不可欠であると同時に財源には限りがあるなかで、子育て世代、またはこれから生まれてくる子どもたちに対する福祉を持続可能なものにしていくかについては考えていかなければならない、皆さんも考えていきたい論点の一つであることを申し上げて</p>
160	美しく住みやすい安心安全なまち	市場地区	8/6	会場	<p>42年に1区に所帯を持ったときは隣組は19軒だったが今は15軒。今組長になれるのは7人だが10年後には3人になる。地蔵盆は10年先は1軒。とにかくあと取りがない。そこを踏まえて公共のものを考えていかないとけないと思う。再編計画に対する行政と住民の意見を聞いていると、どちらも正しいしどちらも言い分があると思う。しかしこれはこの地域に与えられた一丁目一番地の問題。これをいかにうまく双方に理解していくかが本当に進むべき道だと思う。だから、危険だ危険だというだけではなく危険なら危険でないようにどうしていくべきかを考えていくことが大事で、危険だからやめろといっていたら何もできない。そういう発想ではなく、いかにして人口が減る中で暮らしていけるかを考えるべきだと思う。知恵を出し合ってやってほしい。</p>	<p>それぞれの言い分、考え方があって、今の状態になっているのが現実ではあるが、今いただいた意見についてもわれわれも認識しながら進めることも大事だと思っている。私から今のご意見にはお礼を申し上げたい。</p>
161	つながりで笑顔未来につむぐまち	市場地区	8/6	会場	<p>① 3つ子の魂100までということわざがあるが、子どもは地域で育んでいってやるものだと思う。その上で、認定こども園を1カ所に集中させる考えについて伺いたい。</p> <p>② ということは、こども園を与謝野町全域で1箇所にする必要はまだないということですね。</p> <p>③ そうであれば、今議論している中央公民館を崩してこども園の建設は必要ないと思う。</p> <p>④ 皆さんはむやみやたらに反対されているのではないと思う。理由があってこの場所はだめだといっていると思うので、もう少し頭を柔軟にして検討していただきたいと思う。</p>	<p>① 合併当時、幼稚園保育所あわせて10あった。10の保育所当で預かる子どもの数が小さくなってきた。現場で働いている保育士等の意見を聞く中で、少人数過ぎる保育はこどもの将来にとってあまり好ましくない、いわゆる3～5歳は人格形成期であって、ここを非常に重視して保育教育する必要があると多くの意見をいただいた。15人～20人単位のクラスを作っていく必要がある想定であり、その結果として3つの認定こども園を整備するのが適正な規模ではないかと判断させていただいた。一方で、子どもを地域で育てていくことは非常に重要な話だと考えている。しかし学校も含めて、今後子どもの数が減ってきた中ではこれまで通りの学校・保育所等の数を規模としては難しいという判断もある。全体を見て、子どもにとってどのような規模がいいのかと判断したなかで、小学校も各旧町域に1校ずつ、こども園も1園ずつということが今の町の規模では一番適した数ではないかと示させていただいた。加悦谷の一つでもいいのではないかと意見も合ったが、現在の子ども数だと400人を超える規模のこども園になる。これはさすがに、中学や高校と違うので規模が大きくなりすぎるとこどもの環境にとっては好ましくないで、3園にこだわった理由があるのご理解いただきたい。ちなみに、平成27年から5年間のあいだで、保育所等を活用している子どもの数は平成27年は593人だったが、今年度今現在で590人、10月からは後期入所が始まるので約600人になると思う。子ども全体の数は残念ながら増えないが保育所等を活用する数は減っていない状況のため、当面は3つの認定こども園が適正だと考えている。地域で子どもを育てるのが一番いいと思っているが、残念ではあるがそういう状況では段々なくなってきた、その代わりに一定の規模のこども園の中で子どもがお互いに育ち当っていく環境を提供していきたいというわれわれの考えをご理解いただきたいと思う。</p> <p>② そこまでは当分の間は考えられない。</p> <p>③ 現在は認定こども園は岩滝地域に1カ所。加悦には加悦保育園の園舎を使っかやこども園がある。桑飼保育園は残っている。野田川地域は市場保育所の園舎をのだがわこども園としており、他に山田保育所と石川保育所が残っている。三河内幼稚園を含めると7つの園を運営しているが、それらを統合していくなかで3つにしていきたい。その計画がかやのこども園については令和3年に開設したいと思っている。野田川については、今の計画だと令和4年度に山田保育所などと</p>
162	住民が主人公となるまち	市場地区	8/6	会場	<p>① 町政懇談会の開催にあたる周知について、町報では岩滝と加悦地域については記載しているが、野田川については日程が決まらないので後日広報お知らせ版でお知らせするとなっていたと思うが、町内放送では開催案内をされていたがぎりぎりのところでやっておられたので、岩滝や加悦と同じように早くから日程を決めていただいて広報に載せて欲しいと思っている。</p> <p>② 野田川の他の地域の方にもそのような説明がいきわたってればよいが、それがここにきてそのような事情をきかせてもらって、他の人たちにそれが伝わっているか疑問に思った。もう少し広報についての周知徹底をしっかりとしてもらいたい。</p>	<p>① 野田川地域については社会教育施設体育施設の話があった。通常であれば、地区ごとに輪番で日程調整させていただいて開催しているが、町政懇談会自体は町政全般のことについて意見交換をさせていた場として設定しており、そのあたりについて区長会でおはかりいただいたところ、再編計画についてまだ住民への説明ができていないなかで町政懇談会を開催してもその話に終始してしまうのではないかと少し思いも持っておられ、先に再編計画の利用者説明会を済ませてから、改めて町政懇談会の日程調整をすべきという見解をいただいた。岩滝、加悦地域の町政懇談会と並行して利用者説明会を開催しながら、利用者説明会が終わった時点で各区と調整させていただき開催することとさせていただいたため、広報については限られた時間で行って事もあり、きっちりとしたことができなかったことについてはお詫びしたい。今年度についてはこのような事情があったことについてはご理解いただきたい。</p>

No.	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
163	美しく住みやすい安心安全なまち	市場地区	8/6	会場	ドクターヘリが来るときのヘリポートは小学校や公共施設が離着陸に指定されていると思うが、他の市町村をみると病院の屋上や専用のヘリポートがある。学校などで離着陸する際は水をまく必要があると聞いたがどうか。そうなると緊急のときなのでその作業は時間がかかるので専用のヘリポートができればいいと思うが、それがでなくても公共施設をつくるときに屋上をヘリポートにするなどの考えはあるか。	ヘリポートについては、町内だと小学校や野田川グラウンドも指定場所になっていると思う。わくばるの駐車場もなっているが、砂埃があがらないような状態のヘリポートは町内には少ないと思う。基本的には離着陸する際に砂埃があがらないように消防署が先回りして水をまくことになるが、建物を新たに建てる際にヘリポートを設置するかについては、町の規模の公共施設だと屋上にヘリポートをつくるのはなかなか至難だと思う。将来的にはヘリポートの重要度は上がっていくと思うので、町単独では難しいかもしれないが国の施策ができれば活用していきたいと思う。今の時点ではそれを解決するのは難しいことをご理解いただきたいと思う。